silex technology

FITFAX500

取扱説明書

―第１版―

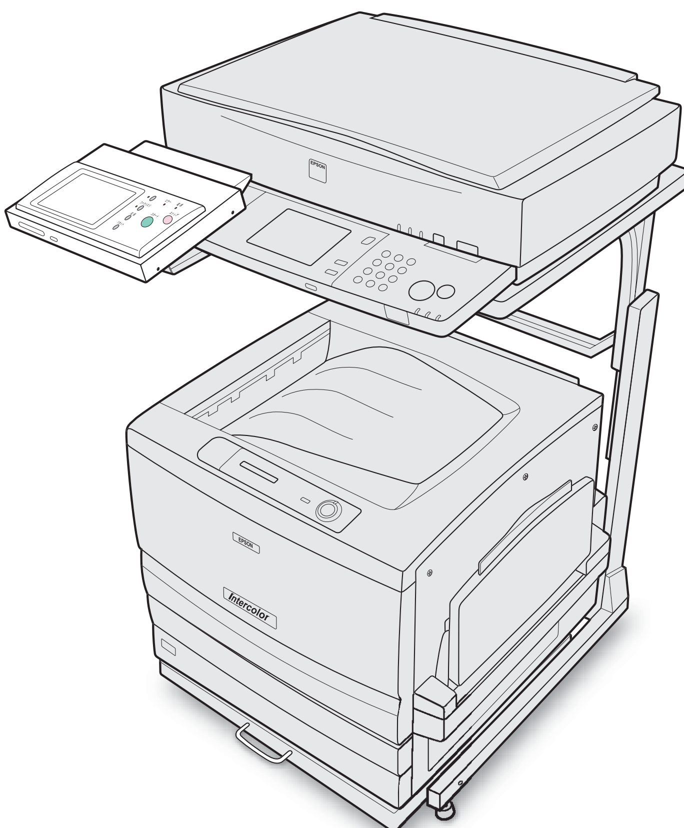
概要 1

ファクス 2

運用管理 3

困ったときは 4

付録 5



表紙裏

白　紙

はじめに

このたびはFITFAX500をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機は、EPSON製のオフィリオステーション(カラーコピーシステム)専用ファクス拡張ユニットです。オフィリオステーションがファクス機としてもご利用いただけるようになります。

この取扱説明書は、上記の機能の利用方法を説明したものです。次のページより記載の「安全に正しくお使いいただくために」をご覧ください。
プリンタ機能およびスキャナ機能につきましては、プリンタ、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

■対応コピーシステム
LP-9500CCH／LP-8800CCH／LP-8800CCS

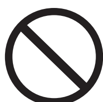
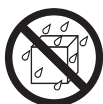
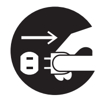
本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、本機のそばに保管してください。
取扱説明書をよくお読みになり、本機を末永くご愛用ください。

この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

安全に正しくお使いいただくために

○本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書およびスキャナ、プリンタに添付されておりますその他の取扱説明書をお読みください。
○本書およびスキャナ、プリンタに添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

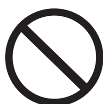
	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

安全に正しくお使いいただくために



	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに本機のACアダプタをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。 お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
	分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。
	本機のACアダプタは、表示されている電源（AC100V ）以外は使用しないでください。 指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。 スキャナの電源とプリンタの電源は別のコンセントから取ってください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電、火災の原因となります。
	異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電、火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。
	破損した電源ケーブルを使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。 ・ 電源ケーブルを加工しない ・ 電源ケーブルの上に重いものを載せない ・ 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない ・ 熱器具の近くに配線しない 電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。
	電源ケーブルのたこ足配線はしないでください。 発熱し火災の原因となります。 電源コンセント（AC100V ）から直接電源を取ってください。
	プリンタの電源プラグは、定格電圧100V のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続、およびスキャナの電源を接続しているコンセントと同じコンセントには接続しないでください。 発熱による火災や感電のおそれがあります。

安全に正しくお使いいただくために

警告	
	**電源プラグの取り扱いには注意してください。** 取り扱いを誤ると火災の原因となります。 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む
	**添付されているＡＣアダプタ以外は使用しないでください。** 感電・火災の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために



	小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
	不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。 特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。
	本製品背面の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。 次のような場所には設置しないでください。 ・押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ ・じゅうたんや布団の上 ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない また、壁際に設置する場合は、壁から10㎝ 以上（プリンタは15㎝ 以上）のすき間をあけてください。
	各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 配線を誤ると、火災のおそれがあります。
	本製品を移動する場合は、安全のためにACアダプタをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
	他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。 落下によって、そばにいる人がけがをするおそれがあります
	オプション類を装着するときは、表裏や前後を間違えないでください。 まちがえて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。
	プリンタを紙詰まりの状態で放置しないでください。 定着器が加熱し、発煙・発火の原因となります。
	使用中に、プリンタのカバーを開けたときは定着器部分に触れないでください。 高温になっているため、火傷のおそれがあります。

安全に正しくお使いいただくために

 注意	
	プリンタの電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近づけないでください。 指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手にとってください。
	使用済みのET カートリッジを、火の中に入れないでください。 トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。不燃物として処理してください。
	本機の電源を入れたままスキャナケーブルの抜き差しをしないでください。 切らないで作業すると機器が故障する危険があります。

取扱説明書の構成と使い方

＜本書の構成＞

本製品に付属の取扱説明書は、以下のように構成されています。

■巻頭の「安全に正しくお使いいただくために」では、本機をご利用いただくにあたり、あらかじめ知っておいていただきたい注意事項を記載しています。必ずお読みください。

■「1章　概要」「2章　ファクス」は、本機の導入方法や、機能別に操作方法を記載しています。

■「3章　運用管理」「4章　困ったときは」「5章　付録」は、設定や日常の手入れ、トラブルの対処方法を記載しています。

＜目次で探す＞

■本機で行ないたいと思った事柄を目次で探してください。

●「目次」 →12ページ

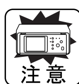
＜索引で探す＞

■キーワードを元に索引を利用して、目的のページへ素早くたどりつくことができます。

●「索引」→5-8ページ

本文中のマーク、表記について

本書の中のマークや表記が付いている文章は、次のように重要な内容を記載しています。
必ずお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、装置本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。



お取り扱い上のアドバイスを記載しています。



知っておいていただきたいことを記載しています。



補足事項を説明しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

[終了]　ボタンを示しています。

「完了しました」　各種機能の設定値、及びLCDパネルに表示されるメッセージを示しています。

用語の説明

用語	説明
ADF	Auto Document Feederの略。複数の原稿を自動的にスキャンするためのスキャナオプションです。ADFには原稿の両面を読み取れるタイプもあります。
ECPモード	Extended Capabilitie Portモードの略称。パラレル インタフェースの規格の一つであり、非同期、バイト幅のデータを双方向に高速に通信する機能を提供するモードのこと。
インタフェース	二つ以上の機器をつなぐ際のデータ転送速度やタイミング、手順などの規格のことです。
パラレル インタフェース	複数の信号線を用いて同時に数ビットまとめてデータを送るパラレル伝送で、外部機器と接続するためのインタフェースのことです。プリンタに装着して使用します。
SCSI インタフェース	Small Computer System Interface の略称。外部機器と接続するためのインタフェースのこと。SCSI機器は0〜7番までのSCSI IDをもち、その番号によってSCSI機器へのアクセス制御を行ないます。7番はホストアダプタ(SCSIカード)に予約されているため使用できません。
解像度	スキャナやプリンタの、きめの細かさのこと。解像度は普通1インチあたりにドットがいくつあるかを示すdpi（dot per inch）という単位であらわします。

目　次

はじめに 3
安全に正しくお使いいただくために 4
取扱説明書の構成と使い方 9
本文中のマーク、表記について 10
用語の説明 11
目　次 12

1章　概要

各機能の概要 1-2
本装置の機能概要 1-2
ファクス概要 1-3
■ファクス送信 1-3
■ファクス受信 1-3
各部の名称とはたらき 1-4
■操作パネル部（正面） 1-4
■操作パネル部（前面） 1-5
■操作パネル部（裏面） 1-5
CF カードの取り扱い 1-6
ソフトウェアキーボード 1-7
ソフトウェアキーボード画面 1-7
■入力モードの切り替え 1-7
■カーソルの移動 1-7
■空白の入力 1-7
■入力文字の消去 1-7
■入力の終了 1-7
文字入力 1-8
■アルファベットの入力 1-8
■カタカナの入力 1-8
■記号の入力 1-9
■ひらがな／漢字の入力 1-9
■区点コードで入力 1-11
スキャナへセットする原稿の向き 1-12
製品導入時の設定 1-13
電源の投入 1-13
タッチパネルディスプレイの
コントラスト調整 1-14
タッチパネルの調整 1-15
■タッチパネルの再調整 1-16
スキャナ接続処理 1-17
プリンタ接続処理 1-18
装置の設定 1-19
■環境設定画面 1-19
■日付設定 1-20
■時刻設定 1-21
電源の遮断 1-22

2章　ファクス

画面 2-2
ファクス基本画面 2-2
応用機能画面 2-3
ファクス送受信の準備 2-4
設定項目一覧 2-4
受信モード 2-5
端末登録 2-6
■自局番号登録 2-6
■自局名称登録 2-7
発信元記録 2-8
受信用紙 2-9
■「ちいさめ」について 2-9
送受信速度 2-10
通信音量 2-11
回線種類 2-12
ADF 異常時 2-13
送信メモリフル時 2-14
呼出回数 2-15
リダイヤル 2-16
■リダイヤル回数 2-16
■リダイヤル間隔 2-16
エラー訂正機能 2-17
ファクス送信 2-18
ファクス送信の手順 2-18
■テンキーからダイヤルする 2-19
■リダイヤルする 2-19
■アドレス帳からダイヤルする 2-20

不達通知 2-21
ファクス受信 2-22
ファクス受信の手順 2-22
基本ファクスの設定 2-23
送信画質 2-23
送信解像度 2-24
送信濃度 2-25
応用ファクスの設定 2-26
設定値保存 2-27
■設定値印刷 2-27
両面読取 2-28
■原稿台から両面原稿を
スキャンする 2-28
F コード送信 2-29
■ F コードをつけて送信する 2-29
タイマ送信 2-31
■タイマ送信を予約する 2-31
■タイマ送信を解除する 2-32
グループ送信 2-33
■グループからダイヤルする 2-33
■グループの登録 2-35
■グループに送信先を
追加／削除する 2-36
■グループ名を修正する 2-37
■グループを削除する 2-38
原稿サイズ 2-40
■ ADF サイズ 2-40
■原稿台サイズ 2-41
輪郭設定 2-42
変倍送信 2-43
テスト送信 2-44
アドレス帳 2-45
アドレス帳の登録 2-45
アドレス帳の修正／削除 2-46
アドレス帳の印刷 2-47
ファクス履歴 2-48
ファクス履歴の確認 2-48
■送信／受信履歴を印刷する 2-49
■メモリ受信を印刷する 2-49
■履歴を初期化する 2-49
■履歴印刷サンプル 2-50

3章　運用管理

環境設定 3-2
環境設定とは 3-2
■環境設定画面 3-3
日付設定 3-4
時刻設定 3-4
節電設定 3-5
オートクリア設定 3-6
排紙位置設定 3-7
音量設定 3-8
設定初期化 3-9
CF カード管理 3-10
タッチパネルの再調整 3-11
プリンタオフセット設定 3-12
IP アドレス設定 3-13
■自動設定 3-13
■手動設定 3-14
信号送出 LV 3-16
LPT ステータスシート 3-17
管理者メニュー 3-18
設定内容バックアップ 3-18
設定内容リストア 3-19
ファームウェアの
バージョンアップについて 3-21
■バージョンの確認 3-21
■バージョンアップ用
CF カードの作成 3-21
■バージョンアップ 3-22

4章　困ったときは

エラーメッセージ 4-2
エラー発生について 4-2
エラーメッセージ一覧 4-2
■ファクス編 4-2
■ CF カード編 4-3
■スキャナ編 4-4
■プリンタ編 4-5
■共通編 4-7

5章　付録

日常のお手入れ 5-2
サポートのご案内 5-3
故障のとき 5-3
サポートダイヤル 5-3
ローマ字入力表 5-4
設定値一覧 5-5
ファクス設定 5-5
環境設定 5-6
仕様 5-7
索引 5-8

1章

概要

■目次

各機能の概要 1-2
本装置の機能概要 1-2
ファクス概要 1-3
■ファクス送信 1-3
■ファクス受信 1-3
各部の名称とはたらき 1-4
■操作パネル部（正面） 1-4
■操作パネル部（前面） 1-5
■操作パネル部（裏面） 1-5
CF カードの取り扱い 1-6
ソフトウェアキーボード 1-7
ソフトウェアキーボード画面 1-7
■入力モードの切り替え 1-7
■カーソルの移動 1-7
■空白の入力 1-7
■入力文字の消去 1-7
■入力の終了 1-7
文字入力 1-8
■アルファベットの入力 1-8
■カタカナの入力 1-8
■記号の入力 1-9
■ひらがな／漢字の入力 1-9
■区点コードで入力 1-11
スキャナへセットする原稿の向き 1-12
製品導入時の設定 1-13
電源の投入 1-13
タッチパネルディスプレイの
コントラスト調整.............. 1-14
タッチパネルの調整 1-15
■タッチパネルの再調整 1-16
スキャナ接続処理 1-17
プリンタ接続処理 1-18
装置の設定 1-19
■環境設定画面 1-19
■日付設定 1-20
■時刻設定 1-21
電源の遮断 1-22

本装置の機能概要

本装置には以下の機能が搭載されています。

主機能

■ファクス
（G3 ファクス送信／ファクス受信）

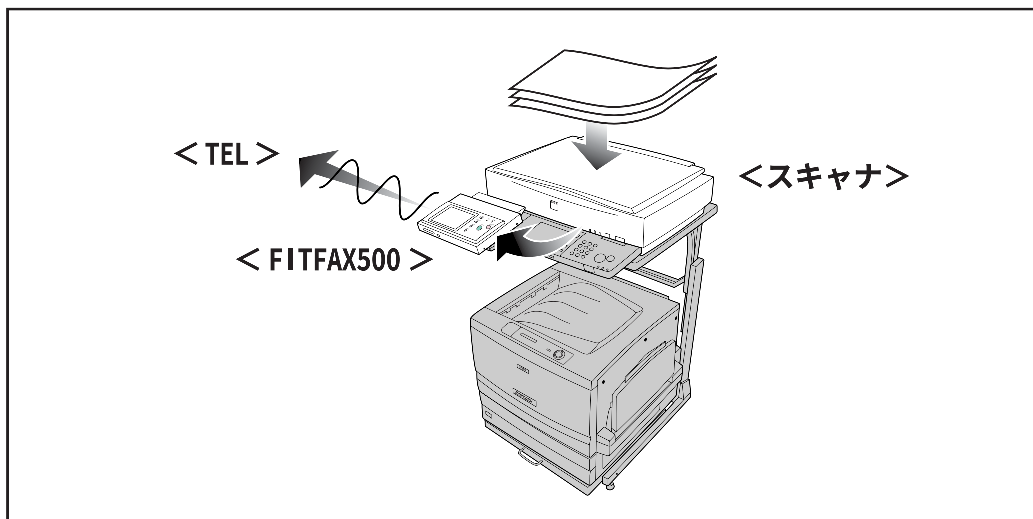
補助機能

■アドレス帳
■グループ送信
■環境設定

ファクス概要

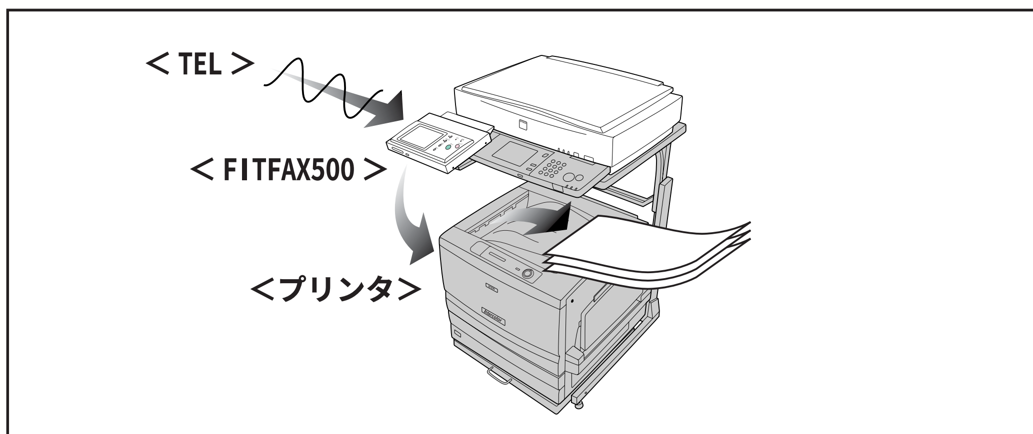
■ファクス送信

スキャナよりスキャンしたデータを、ファクス送信します。スキャナにオプションのADFを装着することで、両面原稿のファクス送信が行なえます。また、Fコード送信にも対応しています。



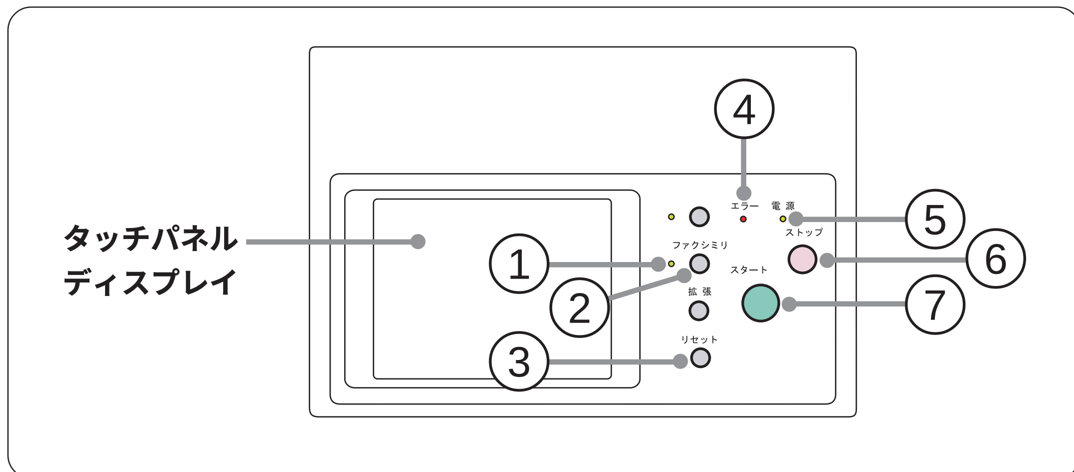
■ファクス受信

受信ファクスは、本機内のCFカードに一度保存したあと、カラーレーザープリンタで印刷します。また、ファクス受信時にプリンタの電源がオフなっていた場合は、自動的にメモリ受信となり、後でメモリ印刷を行なうことで、受信ファクスを取り出させます。



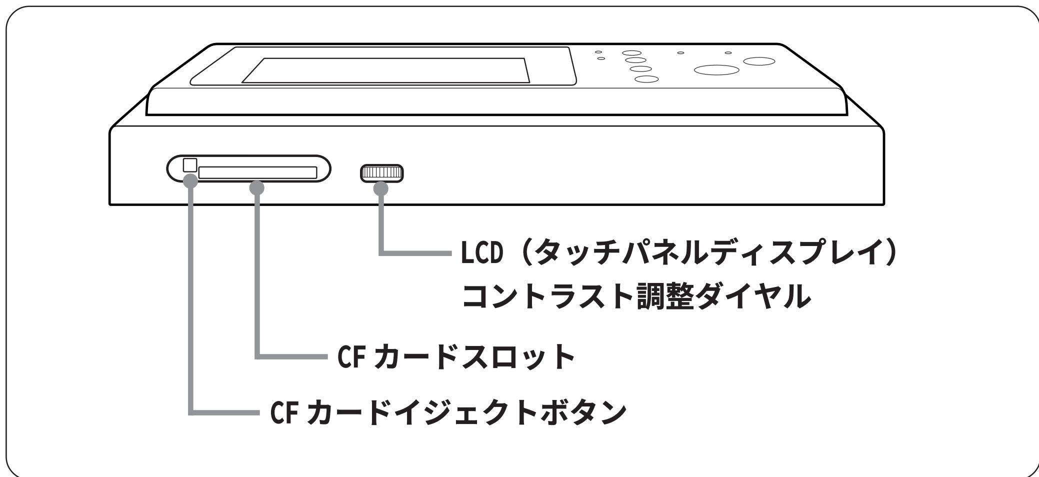
各部の名称とはたらき

■操作パネル部（正面）

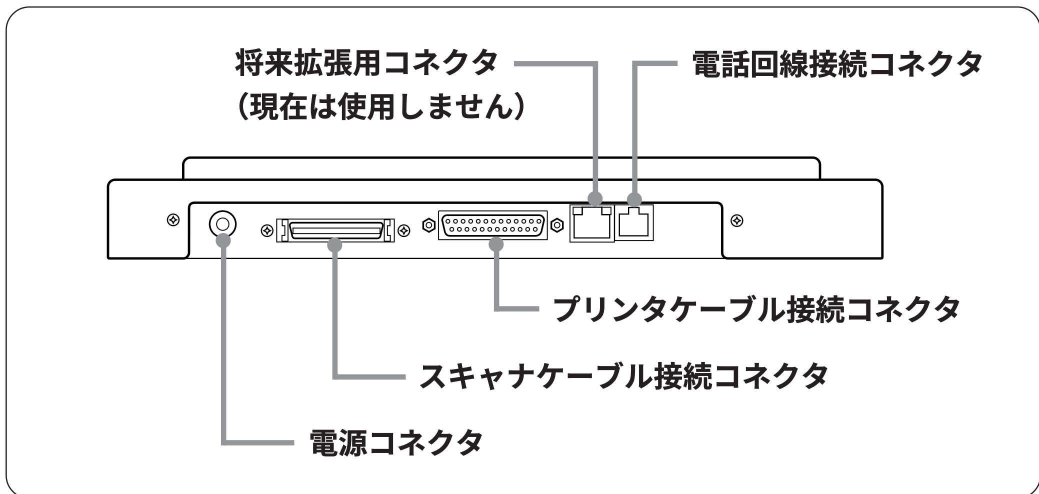


No	名称	説明
①	「ファクシミリ」ランプ	点灯：ファクスモードです。 点滅：ファクス送受信中です。
②	「ファクシミリ」ボタン	ファクスモードに切り替えます。
③	「リセット」ボタン	設定などを設定保存された状態にリセットします。 データ入力中は、入力エリアのデータをクリアします。
④	「エラー」ランプ	何らかのエラーが発生したことを示します。 消灯：本機は正常に動作しています。 点灯／点滅：本機にエラーが発生しています。 ●「エラーメッセージ一覧」→4-2ページ
⑤	「電源」ランプ	本機の動作状態を示します。 消灯：本機が電源オフの状態です。 点灯：本機を使用可能な状態です。 点滅：ファクス受信データがあります。
⑥	「ストップ」ボタン	ファクス送信を中断します。
⑦	「スタート」ボタン	ファクス送信を開始します。

■操作パネル部（前面）

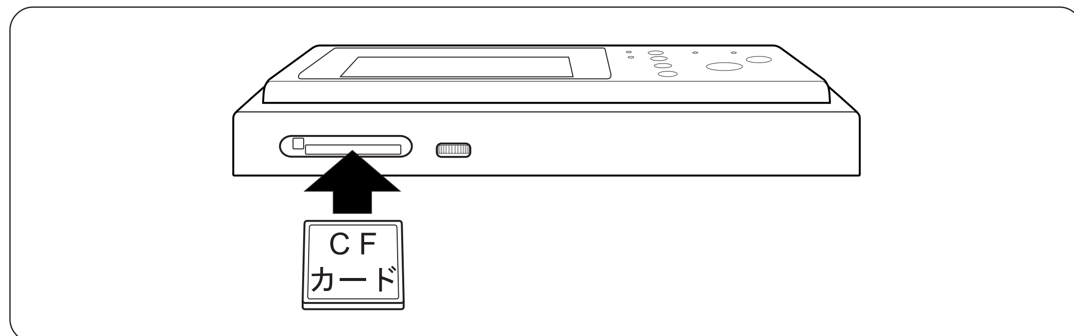


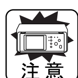
■操作パネル部（裏面）



CF カードの取り扱い

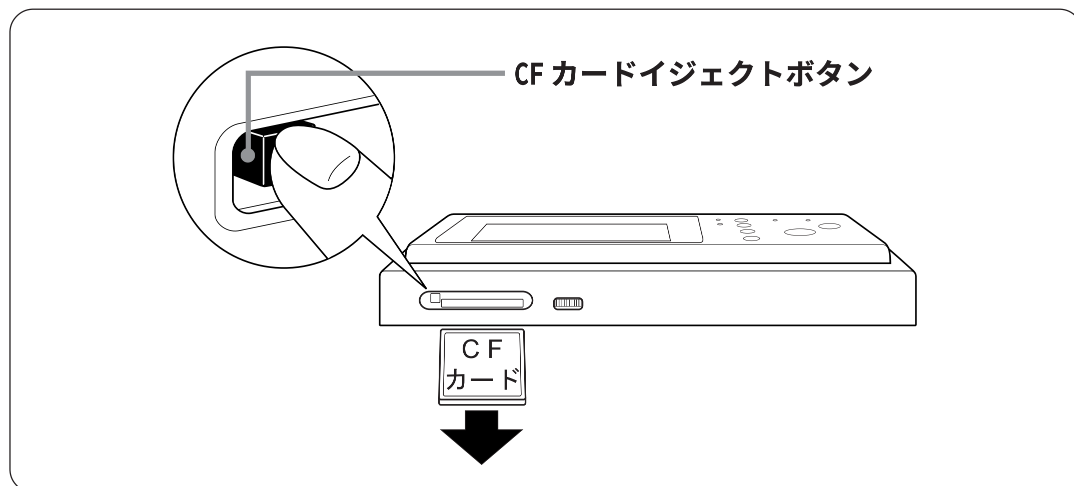
本機には、コンパクトフラッシュカード（以下 CF カード）が装着されています。





CF カードの向きを間違えると、スロットの奥まで差し込めません。CF カードを奥まで差し込めないときは、無理に差し込まないでください。破損する場合があります。奥まで差し込めないときは、CF カードの方向を確かめ、再度挿入してください。

CF カードを抜く場合は、本機の電源をオフにしてから、CF カードスロットの横にあるCF カードイジェクトボタンを押してください。また、CF カードを挿入するときも、本機の電源がオフの状態で行なってください。 ●「電源の遮断」 →1-22 ページ





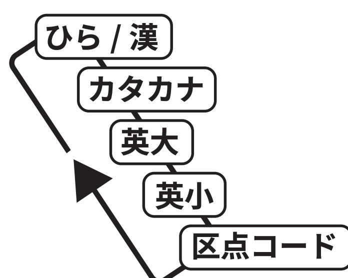
起動時にCFカードが本機に装着されていない場合、CFカードエラーを通知する画面を表示します。CF カードを本機に挿入して［再チェック］ボタンを押してください。
また、本機の電源の遮断を正しく行なわなかった場合にも、同様の画面が表示されます。この場合は、［CF 初期化］ボタンを押して CF カードの初期化を行なってください。

ソフトウェアキーボード画面

タッチパネルディスプレイにソフトウェアキーボードが表示された場合は、ソフトウェアキーボードから文字入力を行なうことができます。

■入力モードの切り替え

入力モード切替ボタン［ひら / 漢］を押すと、次の順に入力モードとボタン表示が切り替わります。入力場面によっては、表示されないボタンがあります。





■カーソルの移動

［←］，［→］ボタンを押すと、カーソルがそれぞれ一文字分、左右に移動します。

■空白の入力

［空白］ボタンを押すと、空白（半角）が入力されます。

■入力文字の消去

［Back space］ボタンを押すと、入力済みの文字列を、後ろから一文字削除します。

（リセット）ボタンを押すと、入力済みの文字列を全て削除します。

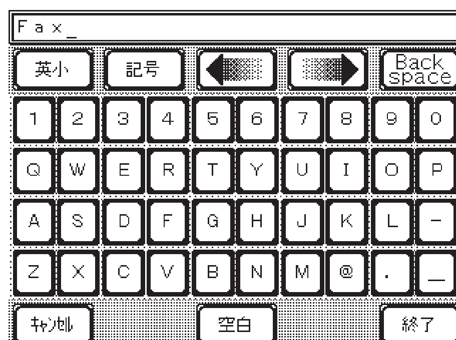
■入力の終了

［終了］ボタンを押します。

文字入力

■アルファベットの入力

例：「Ｆａｘ」を入力



1. 入力モード切替ボタンを押して、「英大」モードへ切り替えます。

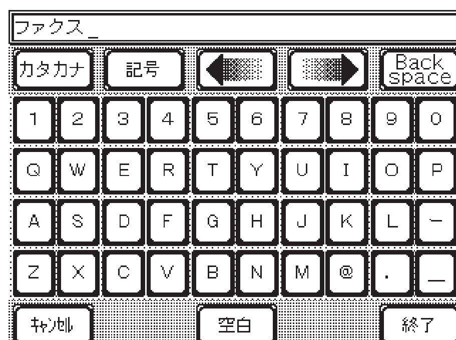
2. ［Ｆ］を入力します。

3. 入力モード切替ボタンを押して、「英小」モードへ切り替えます。

4. ［Ａ］［Ｘ］と入力します。
   「Ｆａｘ」と表示されます。

■カタカナの入力

例：「ファクス」を入力



1. 入力モード切替ボタンを押して､「カタカナ」モードへ切り替えます。

2. [F] [A] [K] [U] [S] [U] と入力します。

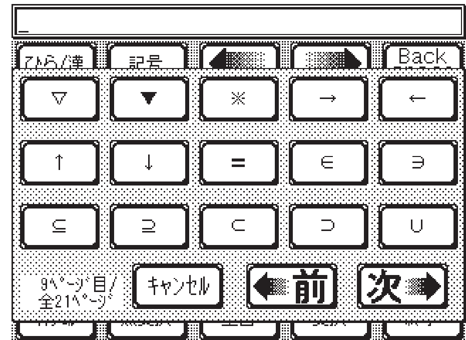
3. 「ファクス」と表示されます。

■記号の入力

例：「※」を入力

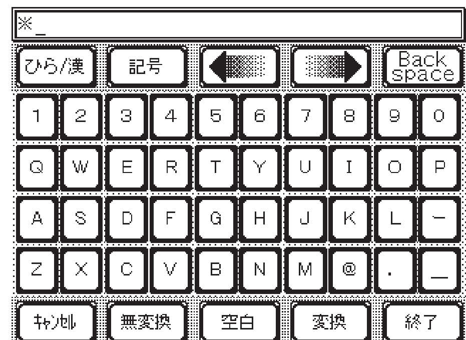
1 ［記号］ボタンを押し、記号モードへ切り替えます。

2 ［次→］ボタンを 8 回押し、
「9 ページ目 /21 ページ」へ切り替えます。



3 画面中央の［※］ボタンを押して、
選択します。
［キャンセル］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

「 ※ 」と表示されます。

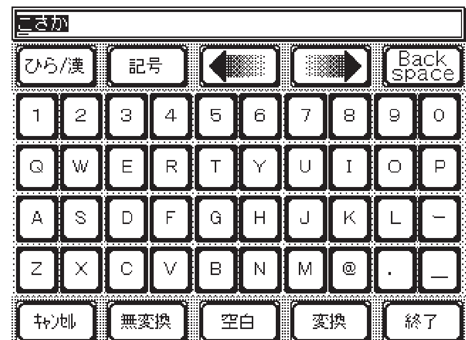


■ひらがな／漢字の入力

例：「こさか支店」を入力

1 入力モード切替ボタンを押して、「ひら / 漢」モードへ切り替えます。

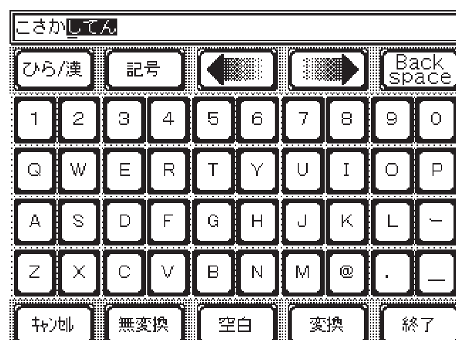
2 ［K］［O］［S］［A］［K］［A］と入力し、
［無変換］ボタンを押してください。
「こさか」が確定されます。



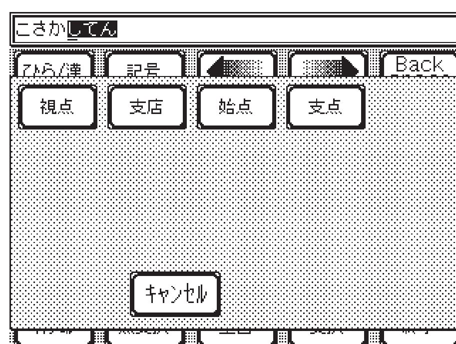
1
2
3
4
5

3 [S] [I] [T] [E] [N] [N] と入力します。
「してん」と表示されます。

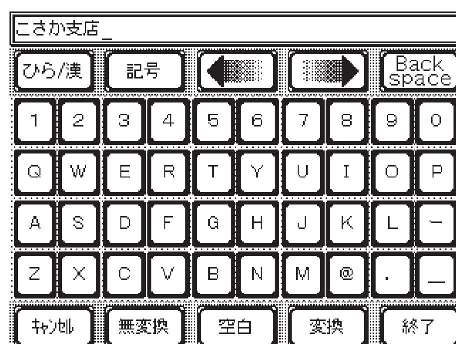
[変換] ボタンを押してください。



4 変換候補が表示されます。
変換候補の中から、[支店] ボタンを押してください。
[キャンセル] ボタンを押すと、変換を確定せずに、前の画面に戻ります。



5 変換が確定され、「こさか支店」と表示されます。

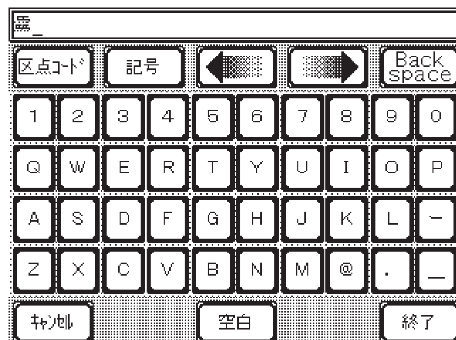


■区点コードで入力

区点コードで、文字を入力することができます。区点コード表を参照して入力してください。　（※本書には区点コード表はありません。）

例：「　鬮(とどろ)　」 区点コード[8174]を入力

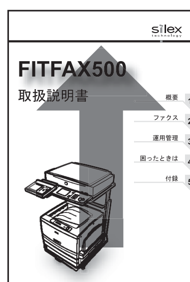
1 入力モードボタンを押して、
「区点コード」モードへ切り替えます。



2 ［8］［1］［7］［4］と入力すると、
「　鬮　」が表示されます。

◆スキャナへセットする原稿の向き

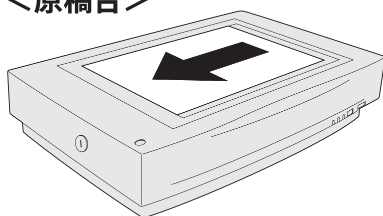
＜スキャン原稿＞



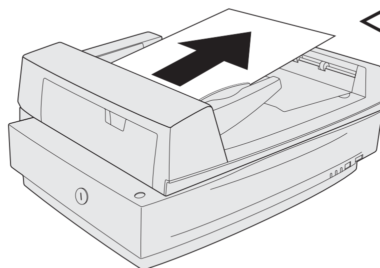
EPSON 製スキャナ

原稿台にセットする場合は、原稿の**表面を下**に、
ADFにセットする場合は、原稿の**表面を上**にして、矢印の向きにセットします。

＜原稿台＞



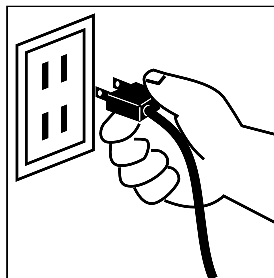
＜ADF＞



電源の投入

1 プリンタ、スキャナの電源を投入します。

2 本機の AC アダプタをコンセントに差し込みます。

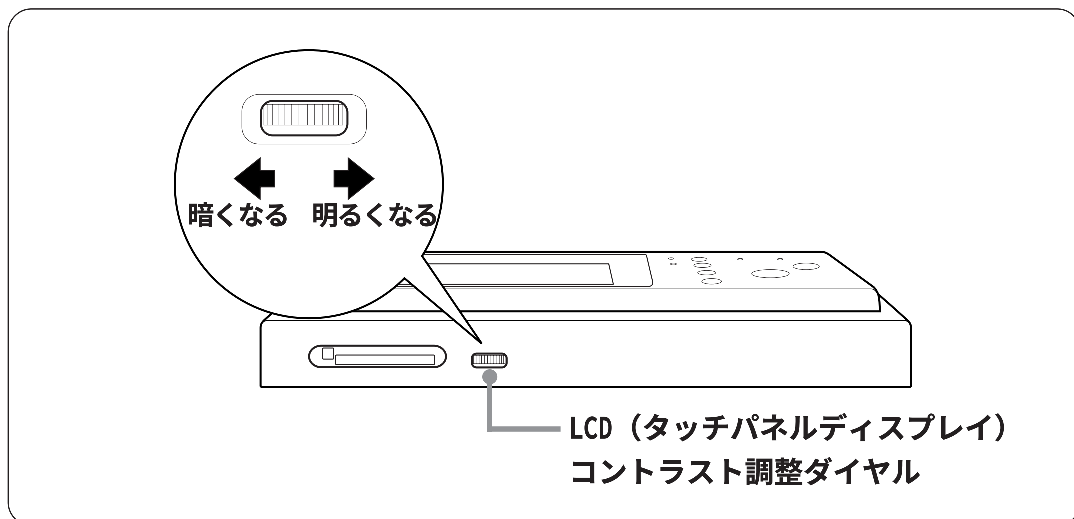




起動が完了して、ファクス基本画面が表示されるまで、本機の電源をオフにしないでください。

タッチパネルディスプレイのコントラスト調整

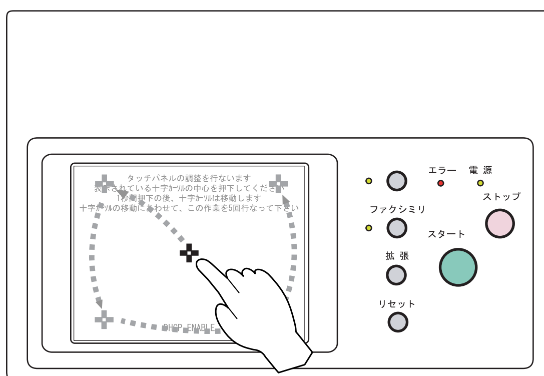
タッチパネルディスプレイのコントラスト調整は､操作パネルの前面にあるダイヤルで行ないます。本装置を使用する場所の環境に合わせて調整してください。



タッチパネルの調整

電源を投入すると、タッチパネル調整値を保存していない場合、タッチパネルの調整画面が起動します。

1 **画面中央に“ ＋ ”マークが表示されます。“ ＋ ”マークの中心を正確に指先で約1秒間押してください。“ ＋ ”マークは画面の「中央」→「左上」→「左下」→「右下」→「右上」の順に表示されます。5箇所のマークを順に押してください。**



2 **その後、調整情報を保存するか否かの選択画面が表示されます。ここで［保存］ボタンを押して調整情報を保存してください。**

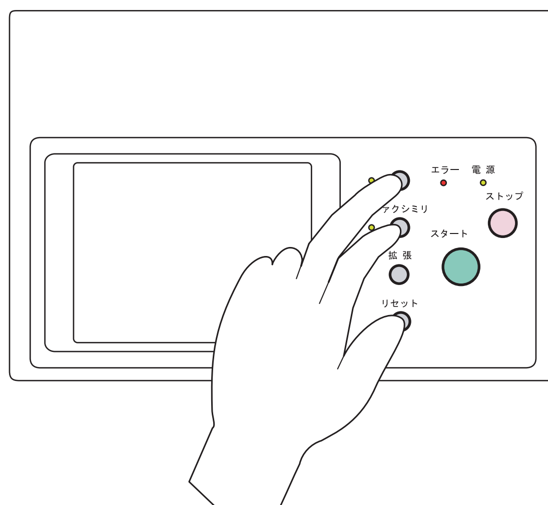


> **補正値を保存することで、次回以降の電源投入時におけるタッチパネルの補正操作が発生しなくなります。また、一度保存した補正値を再度調節することができます。**

■タッチパネルの再調整

タッチパネルのボタンがききにくい、位置がずれている等の現象が発生する場合は、タッチパネルの再調整を行なってください。

1 ［(無字)］＋［ファクシミリ］＋［リセット］ボタンを同時に押しながら電源を投入してください。ボタンは、タッチパネル調整画面が表示されるまで押しつづけてください。



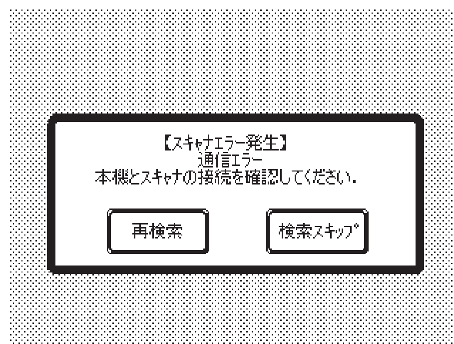
2 再度タッチパネル調整の設定を行なった後、［保存］ボタンを押して調整情報を保存してください。

スキャナ接続処理

1 電源を投入すると、本機はスキャナとの接続処理を行ないます。

スキャナとの接続が成功すると、本機はプリンタ接続処理を行ないます。
次のページの「プリンタ接続処理」へ進んでください。

2 スキャナとの接続に失敗した場合は、右の画面が表示されます。
[再検索] ボタンを押すと、本機は再度スキャナとの接続を行ないます。
[検索スキップ] ボタンを押すと、本機はスキャナを検索せずに起動します。





検索をスキップした場合、起動後、スキャナ利用時にスキャナ接続処理を行ないます。



- スキャナのSCSI IDは7番以外に設定してください。
- EPSON製スキャナをご利用の場合は、TERMINATOR S/W（ターミネータスイッチ）をONに設定してください。

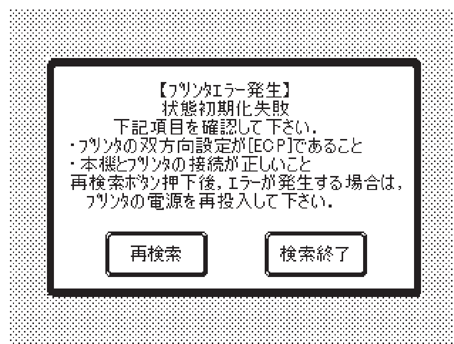
設定方法につきましては、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

プリンタ接続処理

1 スキャナとの接続処理が終わると、次にプリンタ接続処理を行ないます。

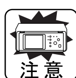
プリンタとの接続が成功すると、本機はファクスモードで起動します。
次のページの「装置の設定」へ進んでください。

2 プリンタとの接続に失敗した場合は、右の画面が表示されます。
[再検索］ボタンを押すと、本機は再度プリンタとの接続を行ないます。
[検索終了］ボタンを押すと、本機はプリンタを検索せずに起動します。





検索をスキップした場合、起動後、プリンタ利用時にプリンタ接続処理を行ないます。



- 本機に同梱のプリンタケーブルを使用しない場合、ECP モードに対応したプリンタケーブルをお使いください。ケーブルが ECP モードに対応していないと、本機とプリンタが通信できないため、本機を使用することができません。
- プリンタをパソコンに直接接続して使用する場合は、本機と接続しているプリンタケーブルを外して、プリンタとパソコンを接続してください。
- プリンタ切り替え器等は使用しないでください。プリンタ切り替え器を介して接続していると、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- プリンタに IEEE1284 双方向パラレルインタフェースカード（PRIF5E）を装着している場合、本機はプリンタ標準のパラレルインタフェースカードに接続してください。
- プリンタの双方向設定を「ECP」モードにしてください。

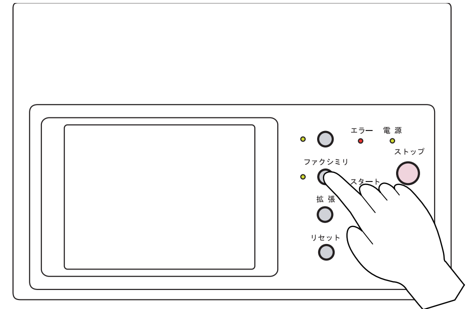
設定方法につきましては、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

装置の設定

環境設定画面で、本機の環境設定を行ないます。

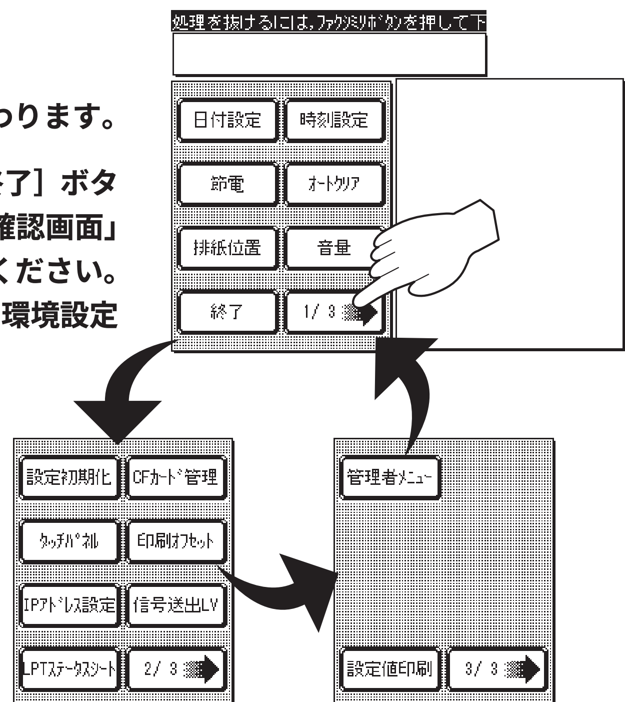
■環境設定画面

1 ファクスモード中に［ファクシミリ］ボタンを押します。



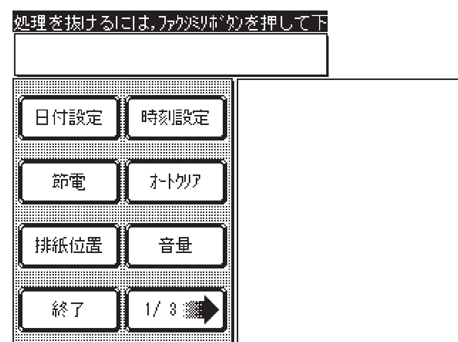
2 環境設定画面が表示されます。
［1／3→］ボタンを押すごとに、
「2／3→」、「3／3→」と切り替わります。

環境設定画面を抜ける場合は、［終了］ボタン押下後に表示される「電源遮断確認画面」にて［FAX画面］ボタンを押してください。
［ファクシミリ］ボタンを押しても環境設定画面を抜けることができます。

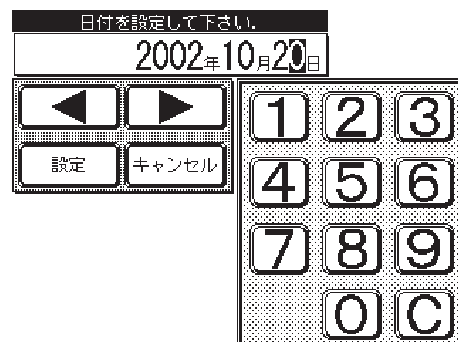


■日付設定

1 環境設定画面－1／3ページにて、
[日付設定] ボタンを押します。



2 [◀] または [▶] ボタンでカーソルを移動させ、テンキーで日付を入力してから、[設定] ボタンを押します。
環境設定画面に戻ります。

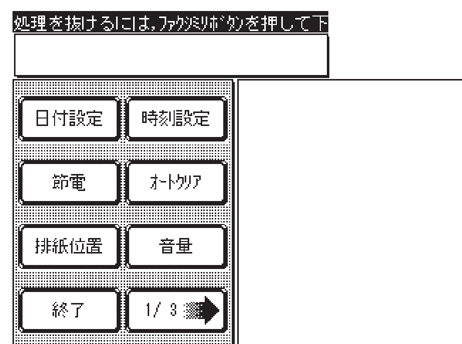




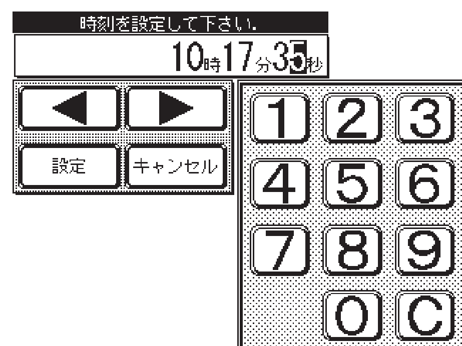
西暦は4桁、月日は2桁で入力してください。入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。　例：7月→07月

■時刻設定

1 環境設定画面－1／3ページにて、
[時刻設定] ボタンを押します。



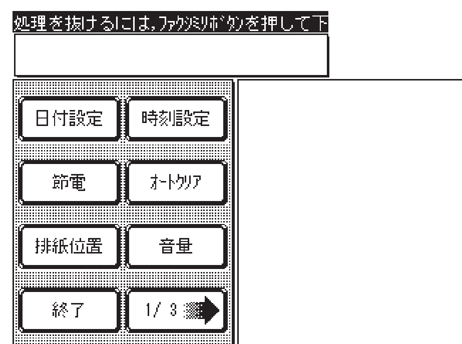
2 [◀] または [▶] ボタンでカーソルを移動させ、テンキーで時刻を入力してから、[設定] ボタンを押します。





時刻は、24時間形式の2桁で入力してください。入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。
例：午後3時→15時
例：午前9時→09時

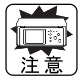
3 [終了] ボタン押下後に表示される「電源遮断確認画面」にて [FAX画面] ボタンを押して環境設定画面を抜けます。
[ファクシミリ] ボタンを押しても環境設定画面を抜けることができます。



これで製品導入時の設定は終わりです。
本機の電源をオフにする場合は、次のページの「電源の遮断」の指示に従ってください。

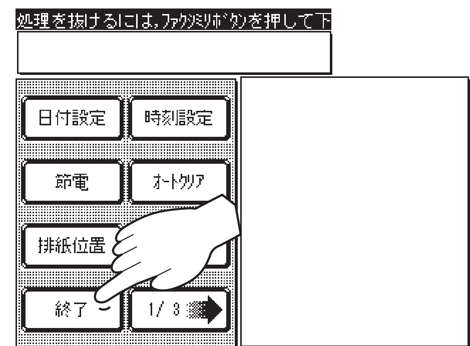
電源の遮断

本機の電源をオフにします。

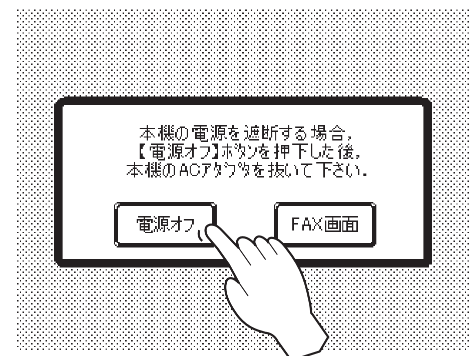


本機の電源をオフにする場合は、必ず以下の手順で行なってください。次回電源投入前に、プリンタと、スキャナをリセットしてください。リセットの方法につきましては、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

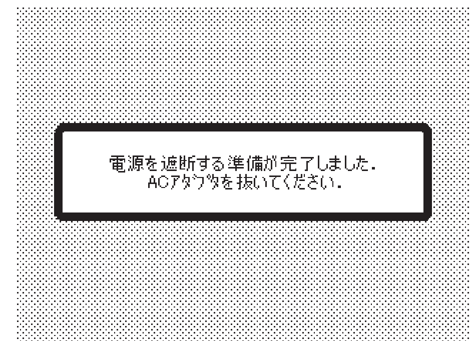
1 環境設定画面－1／3ページにて、［終了］ボタンを押します。



2 ［電源オフ］ボタンを押します。



3 本機の電源をオフにする準備ができました。



4 AC アダプタをコンセントから抜きます。

2章

ファクス

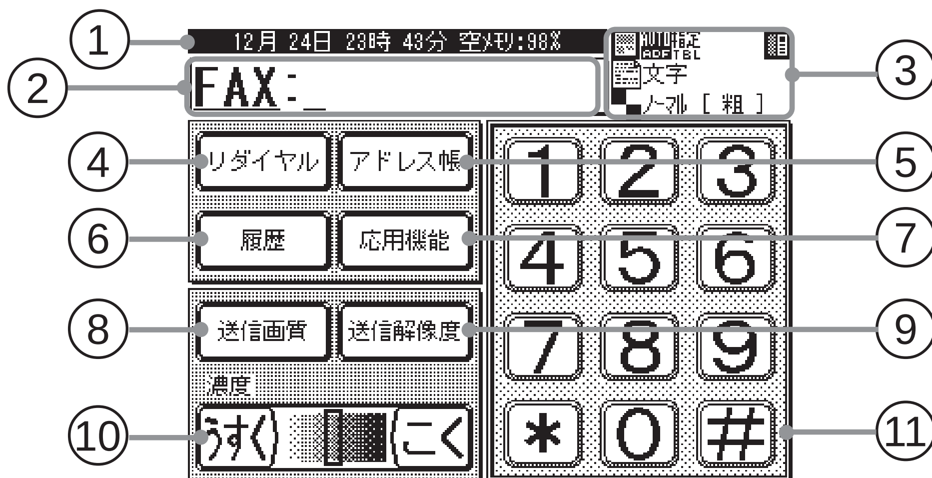
■目次

画面 2-2
ファクス基本画面 2-2
応用機能画面 2-3
ファクス送受信の準備 2-4
設定項目一覧 2-4
受信モード 2-5
端末登録 2-6
■自局番号登録 2-6
■自局名称登録 2-7
発信元記録 2-8
受信用紙 2-9
■「ちいさめ」について 2-9
送受信速度 2-10
通信音量 2-11
回線種類 2-12
ADF 異常時 2-13
送信メモリフル時 2-14
呼出回数 2-15
リダイヤル 2-16
■リダイヤル回数 2-16
■リダイヤル間隔 2-16
エラー訂正機能 2-17
ファクス送信 2-18
ファクス送信の手順 2-18
■テンキーからダイヤルする 2-19
■リダイヤルする 2-19
■アドレス帳からダイヤルする 2-20
不達通知 2-21
ファクス受信 2-22
ファクス受信の手順 2-22
基本ファクスの設定 2-23
送信画質 2-23
送信解像度 2-24
送信濃度 2-25
応用ファクスの設定 2-26
設定値保存 2-27
■設定値印刷 2-27
両面読取 2-28
■原稿台から両面原稿をスキャンする 2-28
F コード送信 2-29
■ F コードをつけて送信する 2-29
タイマ送信 2-31
■タイマ送信を予約する 2-31
■タイマ送信を解除する 2-32
グループ送信 2-33
■グループからダイヤルする 2-33
■グループの登録 2-35
■グループに送信先を追加／削除する 2-36
■グループ名を修正する 2-37
■グループを削除する 2-38
原稿サイズ 2-40
■ ADF サイズ 2-40
■原稿台サイズ 2-41
輪郭設定 2-42
変倍送信 2-43
テスト送信 2-44
アドレス帳 2-45
アドレス帳の登録 2-45
アドレス帳の修正／削除 2-46
アドレス帳の印刷 2-47
ファクス履歴 2-48
ファクス履歴の確認 2-48
■送信／受信履歴を印刷する 2-49
■メモリ受信を印刷する 2-49
■履歴を初期化する 2-49
■履歴印刷サンプル 2-50

画面

ファクス基本画面

1 ファクシミリ ボタンを押して、ファクスモードに切り替えます。

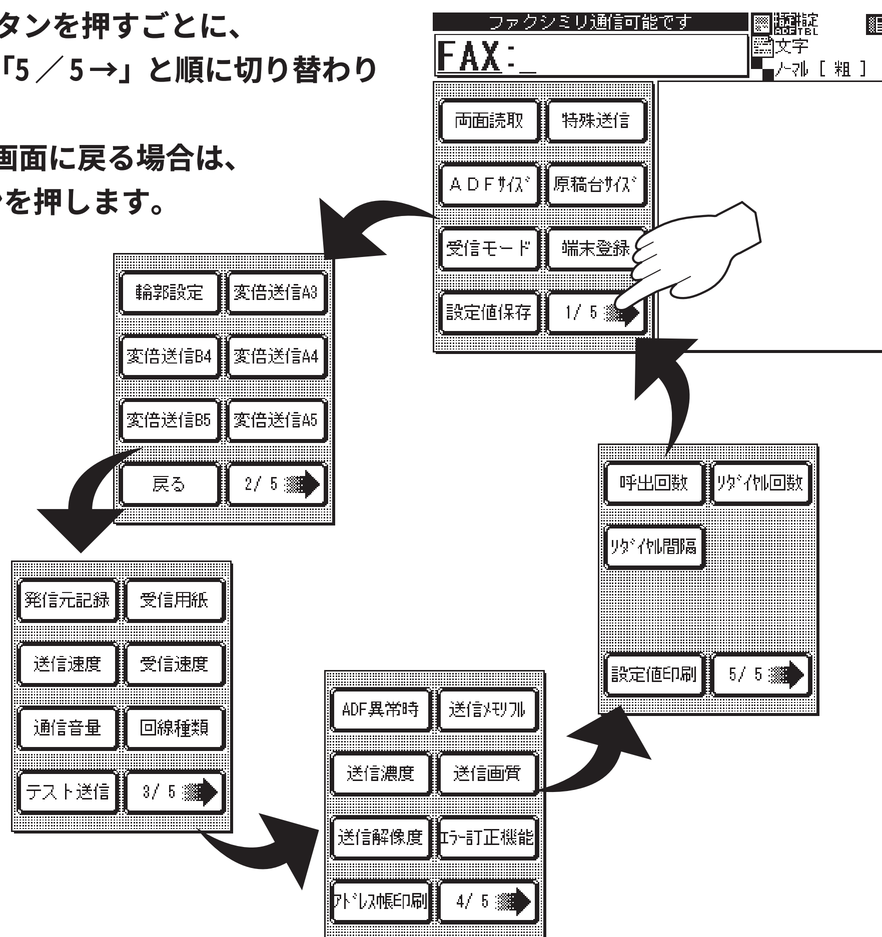


No	名称	説明
①	メッセージ表示	メッセージや動作状況、メモリ使用量を表示します。
②	ダイヤル番号表示	ダイヤル番号を表示します。
③	ステータス表示	設定されている機能や状態を、アイコンで表示します。
④	リダイヤル	直前にダイヤルした番号を呼び出します。
⑤	アドレス帳	アドレス帳を呼び出します。
⑥	履歴	ファクス送受信の履歴、メモリ受信の表示と印刷、タイマ送信の確認と解除を行ないます。
⑦	応用機能	応用機能を呼び出します。
⑧	送信画質	ファクス送信の画質を設定します。
⑨	送信解像度	ファクス送信の解像度を設定します。
⑩	濃度	ファクス送信の濃度を設定します
⑪	テンキー	ダイヤル番号を入力します。

応用機能画面

1 ファクス基本画面にて、［応用機能］ボタンを押します。

2 ［1／5→］ボタンを押すごとに、「2／5→」～「5／5→」と順に切り替わります。
ファクス基本画面に戻る場合は、［戻る］ボタンを押します。



設定項目一覧

ファクス機能をご利用になる場合は、管理者が以下の設定を行なう必要があります。
表を参考にして設定を行なってください。

◆ファクス機能の設定

○:必須／△:任意

設定項目	ファクス送受信
受信モード	△
端末登録	○
発信元記録	○
受信用紙	△
送受信速度	△
通信音量	△
回線種類	○
ADF異常時	△
送信メモリフル	△
エラー訂正機能	△
呼出回数	△
リダイヤル	△

◆環境設定

○:必須／△:任意

設定項目	ファクス送受信
排紙位置	△
印刷オフセット	△
信号送出LV	△

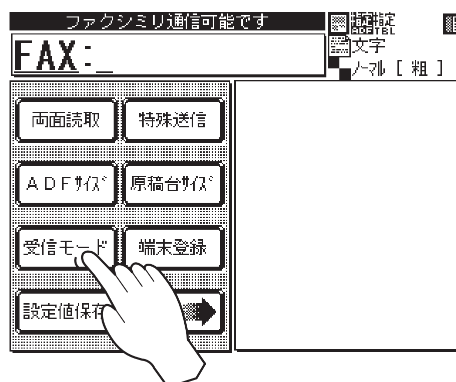


スキャナの状態は、スキャナ使用時に本機が自動的に取得します。

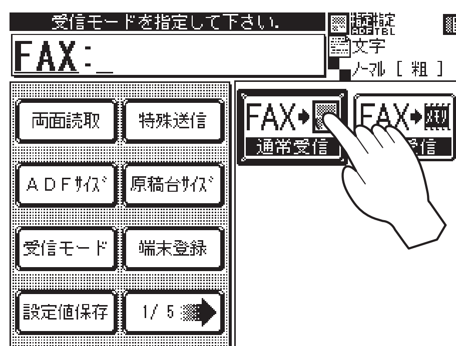
受信モード

受信ファクスを印刷せずに本機のメモリに蓄積する、メモリ受信ができます。

1 ファクス応用画面－1／5ページにて、[受信モード] ボタンを押します。



2 受信モードを選択します。



ボタン	アイコン	説明
FAX→ 通常受信		受信ファクスをプリンタから印刷します。
FAX→ メモリ受信	(アイコン)	受信ファクスを本機のメモリに蓄積し、プリンタから印刷しません。

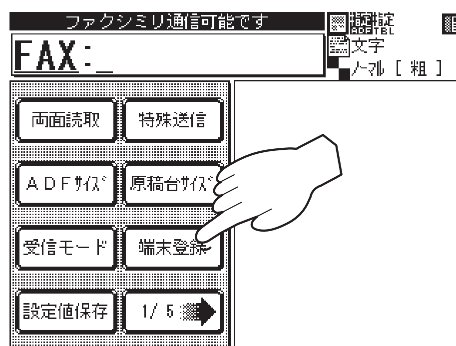


メモリ受信したファクスは、履歴画面のメモリ受信タブにある［メモリ印刷］ボタンを押すと、メモリ受信ファクスの印刷を開始し、ファクスを取り出すことができます。

端末登録

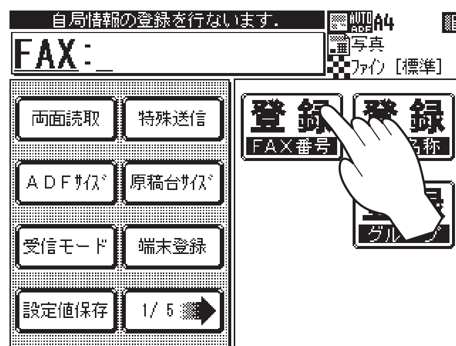
送信した相手の記録紙の上端（ヘッダ）に印刷される発信元の情報を登録します。

1 ファクス応用画面－1／5ページにて、[端末登録] ボタンを押します。



■自局番号登録

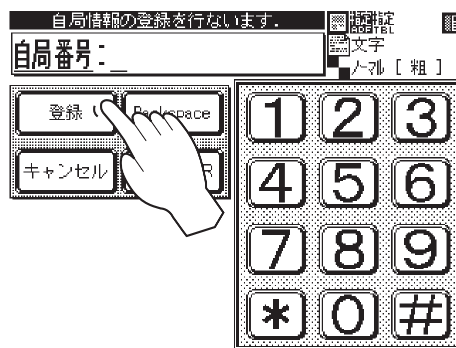
2 [FAX 番号] ボタンを押します。



3 テンキーで自局番号を入力し、[登録] ボタンを押します。

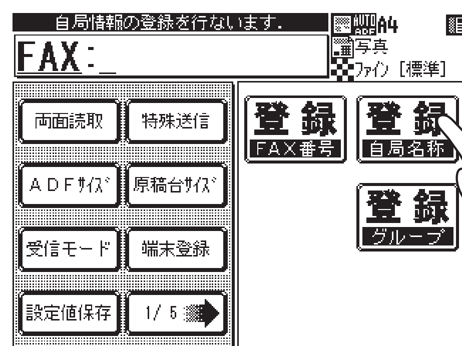


自局番号は、20桁まで登録できます。



■自局名称登録

4 [自局名称] ボタンを押します。



5 ソフトウェアキーボードで自局名称を入力し、[終了] ボタンを押します。





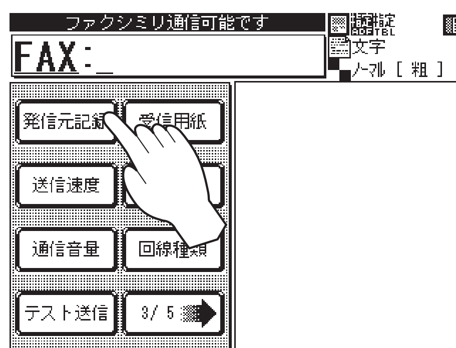
自局名称は、31文字まで登録できます。

1
2
3
4
5

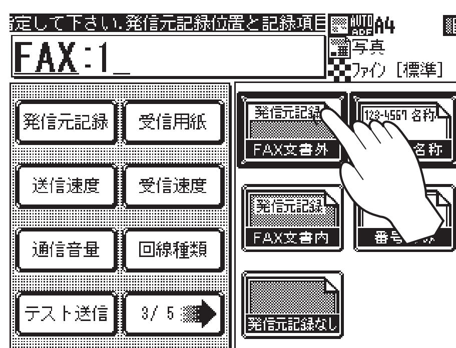
発信元記録

登録した発信元情報の印刷位置と、印刷内容を設定します。

1 ファクス応用画面－3／5ページにて、
［発信元記録］ボタンを押します。



2 印刷位置と、印刷内容を選択します。

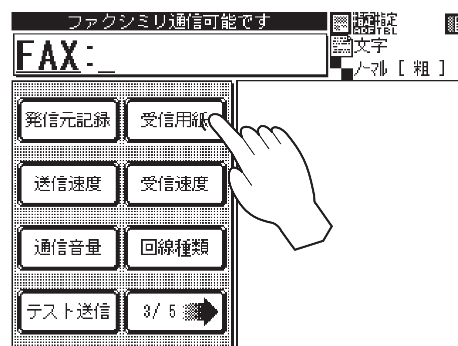


ボタン	説明
発信元記録 FAX文書外	ファクス原稿の外側に、発信元情報を印刷します。 発信元情報が挿入された分、ファクス原稿が縮小されます。
発信元記録 FAX文書内	ファクス原稿の内側に、発信元情報を印刷します。
発信元記録なし	発信元情報を印刷しません。
123-4567 名称 番号と名称	発信元情報として、自局番号と自局名称を使用します。
123-4567 番号のみ	発信元情報として、自局番号を使用します。

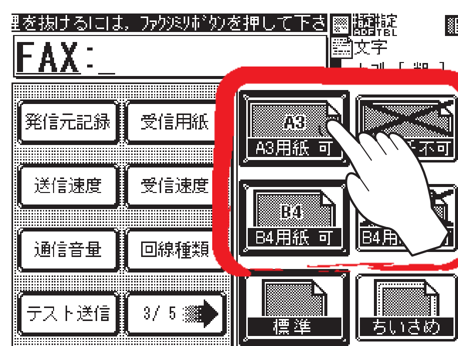
受信用紙

ファクス受信を許可する、最大の受信用紙サイズを設定することができます。

1 ファクス応用画面－3／5ページにて、［受信用紙］ボタンを押します。



2 受信用紙サイズを選択します。



■「ちいさめ」について

プリンタは用紙の端の四辺（各5mm）を印刷できません。
「ちいさめ」は、原稿全体がプリンタの印刷範囲に収まるように、少し縮小して印刷する機能です。

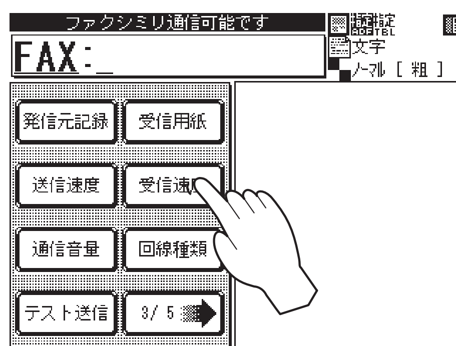
ボタン	説明
A3 A3用紙 可	最大受信サイズがA3になり、A3、B4、A4サイズを受信します。
A3用紙不可	A3サイズの受信を拒否し、B4、A4サイズを受信します。 相手機がA3サイズで送信しようとした場合、本機のA3不可設定によりB4サイズで送信することになります。
B4 B4用紙 可	B4サイズの受信を許可します。A3サイズが不可となっている場合は、B4、A4サイズのみ受信可となります。
B4用紙不可	最大受信サイズがA4となり、A4サイズのみ受信可となります。 相手機がA3／B4サイズで送信しようとした場合、本機のB4不可設定によりA4サイズで送信することになります。
標準	受信ファクスを、そのままの大きさで印刷します。
ちいさめ	受信ファクスを、プリンタの印刷可能範囲に縮小して印刷します。

送受信速度

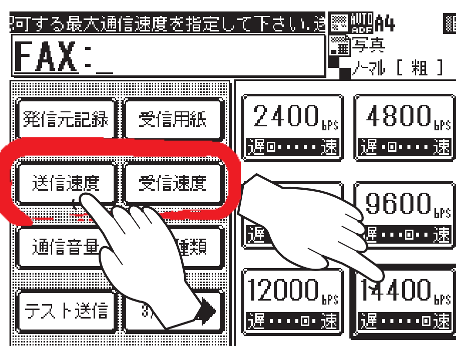
ファクス送信／受信の速度を設定します。ご利用の電話回線の状態に応じて、送受信の速度を設定してください。

1
2
3
4
5

1 ファクス応用画面－3／5ページにて、[送信速度]／[受信速度]ボタンを押します。



2 送信速度／受信速度の速度を選択します。

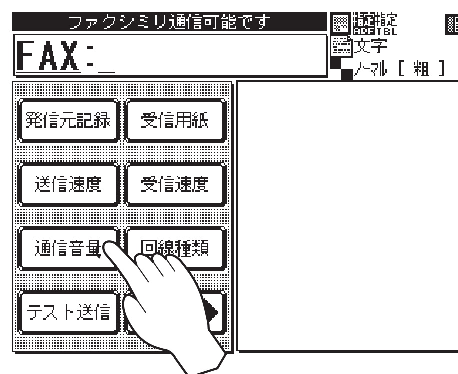


ボタン	説明
2400bPS 遅・・・・・速	2400bPSまでの速度で通信します。
4800bPS 遅・・・・・速	4800bPSまでの速度で通信します。
7200bPS 遅・・・・・速	7200bPSまでの速度で通信します。
9600bPS 遅・・・・・速	9600bPSまでの速度で通信します。
12000bPS 遅・・・・・速	12000bPSまでの速度で通信します。
14400bPS 遅・・・・・速	14400bPSまでの速度で通信します。

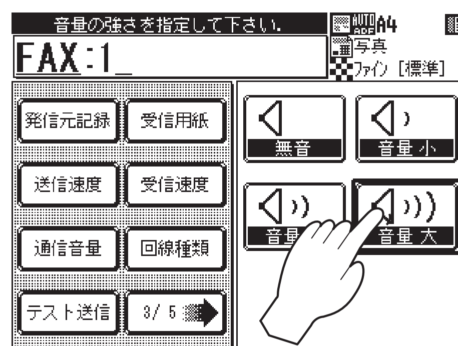
通信音量

ファクス通信の音量を設定します。この音量設定は、通信結果に影響しません。

1 ファクス応用画面－３／５ページにて、
［通信音量］ボタンを押します。



2 通信音量を選択します。

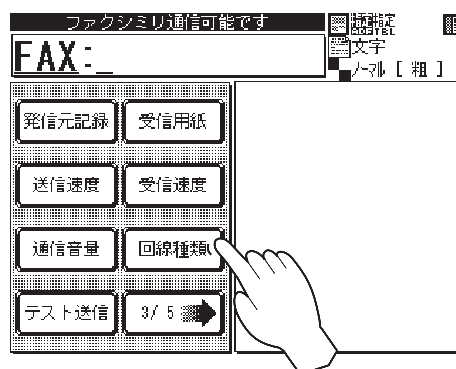


ボタン	説明
無音	音が出ません。
音量 小	小さい音が出ます。
音量 中	中の音が出ます。
音量 大	大きな音が出ます。

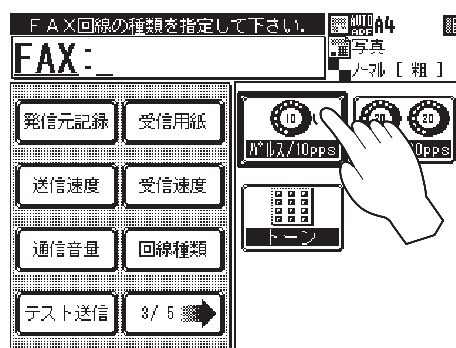
回線種類

本機が接続する電話回線の種類を設定します。

1 **ファクス応用画面－3／5ページにて、[回線種類] ボタンを押します。**



2 **回線種類を選択します。**

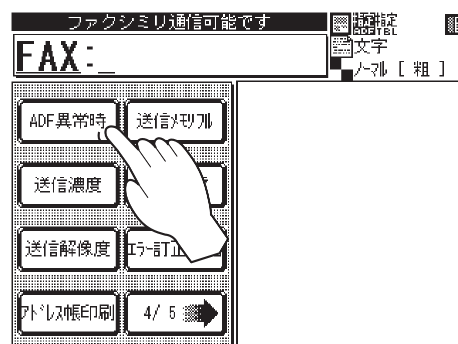


ボタン	説明
パルス/10pps	ダイヤル回線をご利用の場合で、［パルス／20pps］を選択して話中になる場合は、この設定にしてください。
パルス/20pps	ダイヤル回線をご利用の場合に選択してください。
トーン	プッシュ回線をご利用の場合に選択してください。

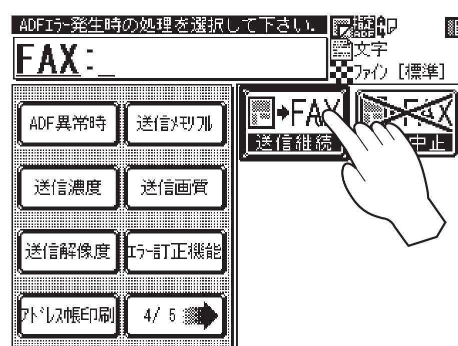
ADF 異常時

ADFから原稿をスキャンしながらファクス送信を行なっている途中に、ADFで紙詰まり等のエラーが発生した場合の処理を設定します。

1 ファクス応用画面－4／5ページにて、[ADF 異常時] ボタンを押します。



2 [送信継続] ／ [送信中止] を選択します。



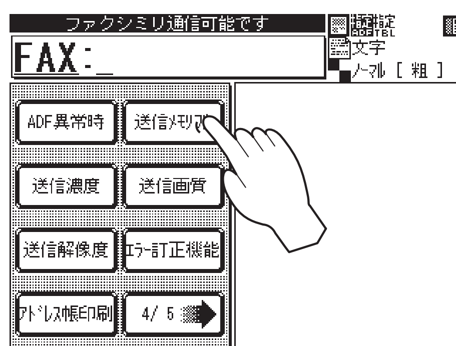
ボタン	説明
→FAX 送信継続	ADFで異常が発生するまでに正常スキャンした原稿については、ファクス送信します。
FAX 送信中止	ADF異常が発生した場合、送信を中断します。

1 2 3 4 5

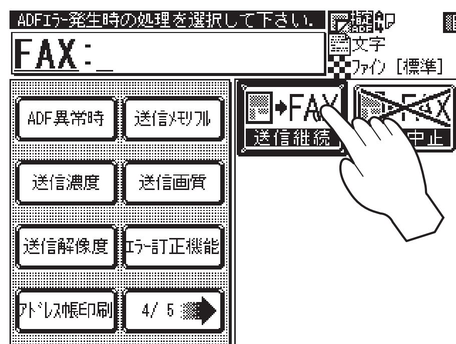
送信メモリフル時

ファクス送信は、通信時間を短くするためにスキャンした画像の圧縮を行なっています。この圧縮処理時に、原稿が非常に細かい等の特性により、圧縮後のデータサイズが圧縮前のデータサイズより大きくなることがあります。このときの、ファクス送信の継続／中止を選択できます。

1 ファクス応用画面－４／５ページにて、［送信メモリフル］ボタンを押します。



2 ［送信継続］／［送信中止］を選択します。

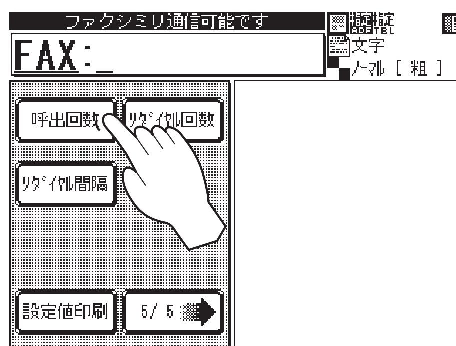


ボタン	説明
FAX 送信継続	圧縮後のデータサイズが圧縮前より大きくなるまでにスキャンした原稿については、ファクス送信します。
FAX 送信中止	圧縮後のデータサイズが圧縮前より大きくなった場合、送信を中断します。

呼出回数

ファクス着信時の呼出回数を設定します。

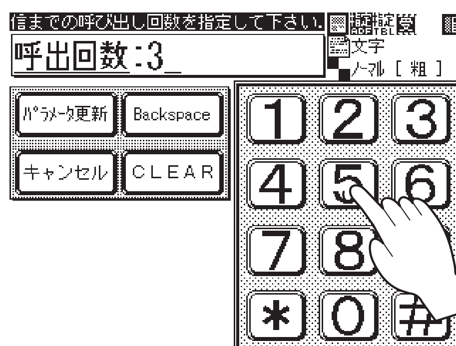
1 ファクス応用画面－5／5ページにて、［呼出回数］ボタンを押します。



2 テンキーで呼出回数を入力し、［パラメータ更新］ボタンを押します。



呼出回数の設定範囲は、1〜9回です。



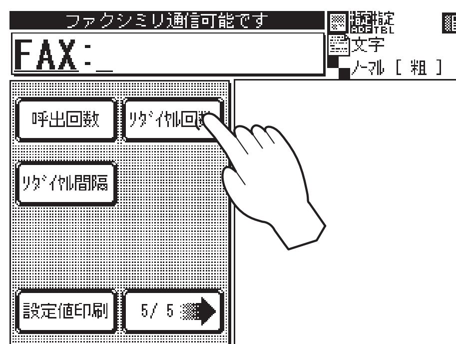
1
2
3
4
5

リダイヤル

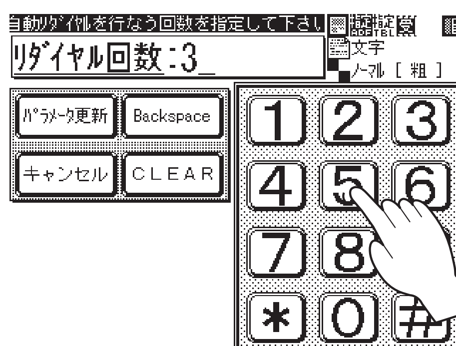
■リダイヤル回数

ファクス送信でエラーが発生した場合の、リダイヤル回数を設定します。

1 ファクス応用画面－5／5ページにて、
[リダイヤル回数] ボタンを押します。



2 テンキーでリダイヤル回数を入力し、
[パラメータ更新] ボタンを押します。



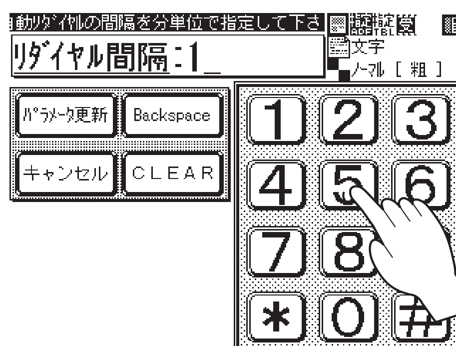


リダイヤル回数の設定範囲は、
0～9回です。

■リダイヤル間隔

3 ファクス応用画面－5／5ページにて、
[リダイヤル間隔] ボタンを押します。

4 テンキーでリダイヤル間隔を入力し、
[パラメータ更新] ボタンを押します。



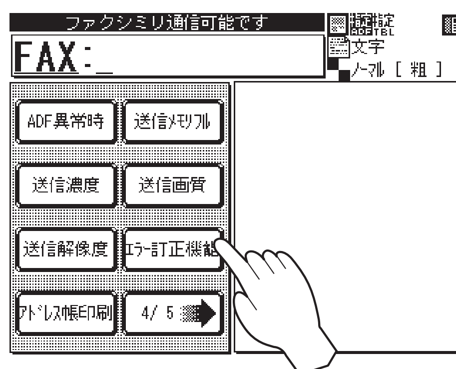


リダイヤル間隔の設定範囲は、
1～9分です。

エラー訂正機能

本機は、エラー訂正機能（ECM）を利用したファクスの送受信ができます。

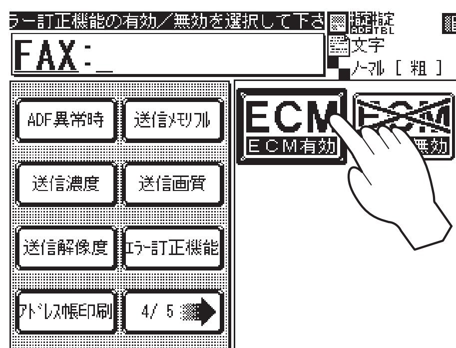
1 ファクス応用画面－4／5ページにて、［エラー訂正機能］ボタンを押します。



2 ［ECM有効］／［ECM無効］を選択します。



通常は、［ECM有効］に設定して使用します。



1
2
3
4
5

ファクス送信の手順

1 モード切り替え



ボタンを押して、ファクスモードに切り替えます。

2 原稿のセット

スキャナの原稿台、または ADF に原稿をセットします。

3 基本機能の設定

■送信画質
■送信解像度
■濃度
→ 2-23 ～ 2-25 ページ

4 応用機能の設定

■両面読取
■特殊送信
■ ADF サイズ
■原稿台サイズ
■輪郭設定
■変倍送信
→ 2-28 ～ 2-43 ページ

5 ダイヤル

■テンキーからダイヤルする	→ 2-19 ページ
■リダイヤルする	→ 2-19 ページ
■アドレス帳からダイヤルする	→ 2-20 ページ
■グループからダイヤルする	→ 2-33 ページ

6 ファクス送信スタート

スタート

ボタンを押して、ファクス送信を開始します。

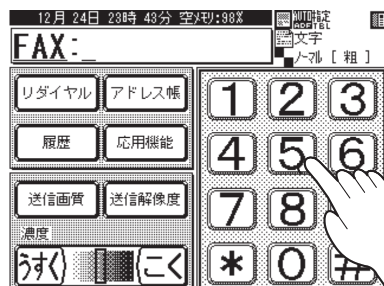


ストップ ボタンを押すと、送信を中断します。スキャン中の原稿は、スキャンを中断して排紙します。ファクス送信中は、回線を切断し送信を中断します。スキャンした原稿の全ページ送信できなかった場合は、「不達通知」(→2-21 ページ）が印刷されます。

■テンキーからダイヤルする

タッチパネルディスプレイのテンキーから、相手先の番号をダイヤルします。

1 テンキーで相手先の番号を入力します。



2 相手先の番号入力を始めると、下の表のボタンが表示されますので、必要に応じて入力してください。



ボタン	説明
ポーズ	本機が内線に接続されていて、外線にダイヤルする場合や、海外にダイヤルする場合は、番号の間に待ち時間（ポーズ）を入れてください。
オフフック	フックを上げた状態になります。
Backspace	番号を後ろから一つ削除します。
CLEAR	入力されている番号を全て削除します。

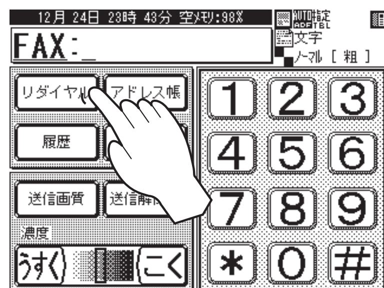
■リダイヤルする

直前にダイヤルした番号にダイヤルします。

1 [リダイヤル] ボタンを押します。



オートクリアにより、リダイヤル番号は消去されます。

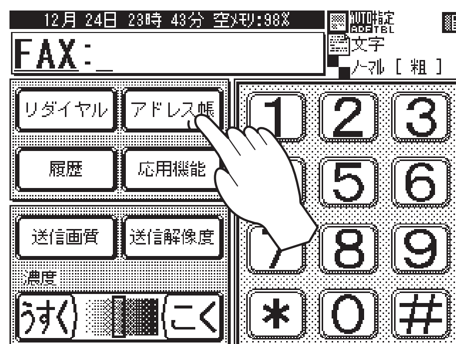


1
2
3
4
5

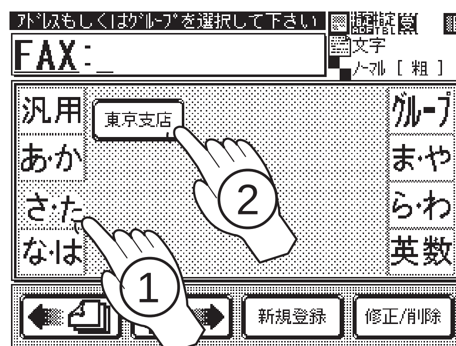
■アドレス帳からダイヤルする

本機に登録されているアドレス帳から、相手先の番号を呼出してダイヤルします。

1 ［アドレス帳］ボタンを押します。



2 ①送信先の登録されているタブを選択し、
②送信先のボタンを押します。

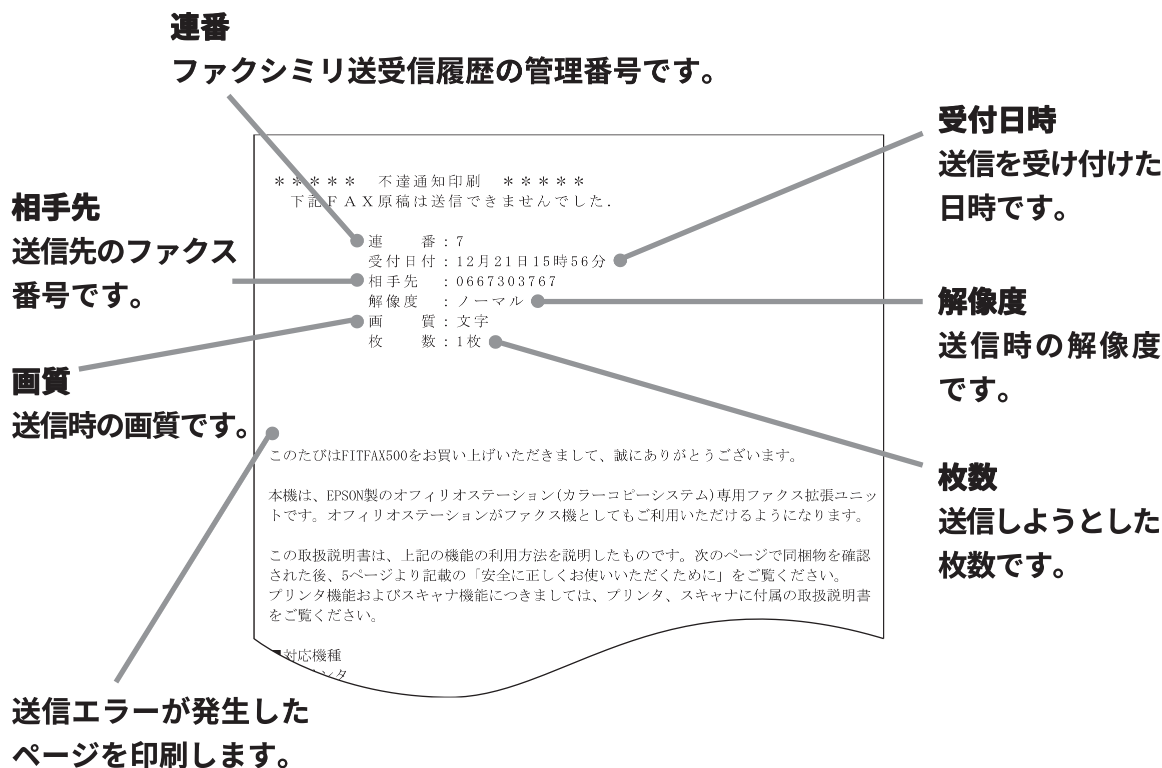




アドレス帳をご利用になるまえに、「アドレス帳の登録」（→2-45ページ）で送信先を登録する必要があります。

不達通知

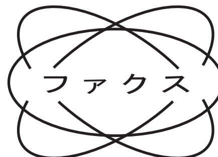
不達通知とは、ファクシミリ原稿を全ページ送信できなかった場合に、送信エラーを通知する機能です。不達通知は、送信エラーが発生する度に印刷されます。



ファクス受信の手順

1 受信モードの設定

■受信モード　→2-5 ページ



受信時

2 受信ファクス印刷

◆通常受信

◆メモリ受信
受信ファクスを印刷せずに、
CF カードに蓄積します。

メモリ印刷
■メモリ受信を印刷する
→2-49 ページ

プリンタから
印刷開始

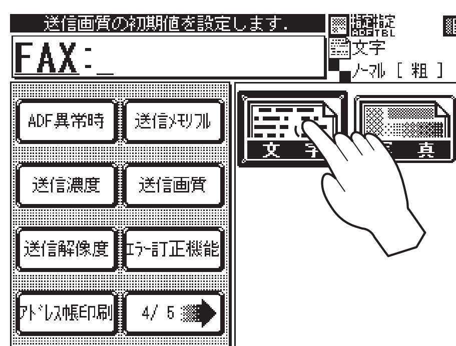
送信画質

原稿にあわせて、ファクス送信の画質を選択します。

1 ファクス基本画面にて、
［送信画質］ボタンを押します。
ボタンを押すごとに、ステータス表示のアイコンが「文字」⇔「写真」に変わります。



◆応用機能から送信品質を変更する場合は、［文字］［写真］ボタンを押して、送信品質を設定します。



ボタン	アイコン	説明
文　字	文字	通常の文字原稿に適しています。
写　真	写真	写真のような濃淡のある原稿に適しています。 送信時間は［文字］にくらべて長くなります。

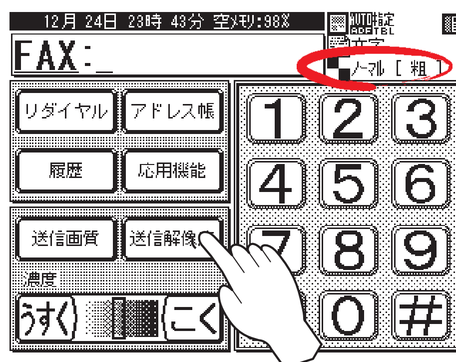


ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

送信解像度

ファクスの送信解像度を選択します。高解像度になるほど、ファクス送信にかかる時間が長くなります。

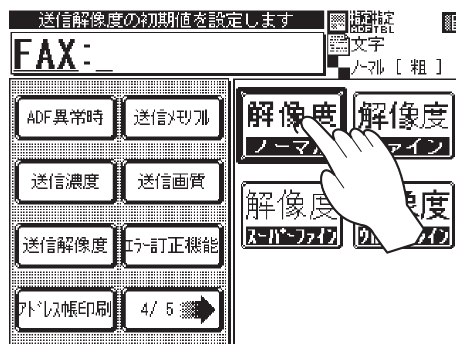
1 ファクス基本画面にて、[送信解像度] ボタンを押します。
ボタンを押すごとに、ステータス表示のアイコンが順に変わります。





送信相手がこちらの指定した解像度に対応していない場合は、相手の能力に合わせた解像度で送信します。

◆応用機能から送信解像度を変更する場合は、それぞれの解像度ボタンを押します。



ボタン	アイコン	説明
解像度 ノーマル	ノーマル [粗]	通常の文字原稿に適しています。
解像度 ファイン	ファイン [標準]	細かい文字原稿に適しています。 [ノーマル] の約2倍の細かさで送信します。
解像度 スーパーファイン	Sファイン[密]	[ノーマル] の約4倍の細かさで送信します。
解像度 ウルトラファイン	Uファイン[細密]	[ノーマル] の約8倍の細かさで送信します。

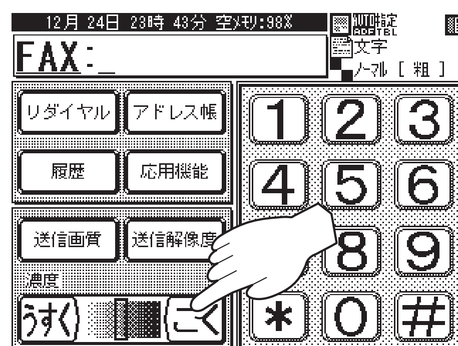


ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

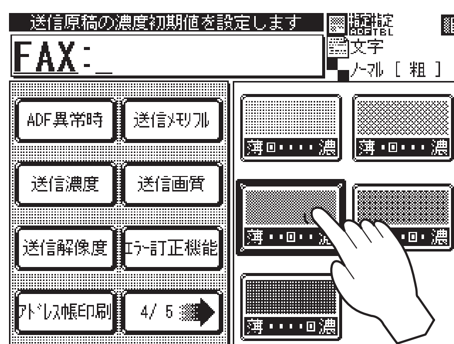
送信濃度

ファクスの送信濃度を 5 段階で設定できます。

1 ファクス基本画面にて、
［うすく］／［こく］ボタンを押します。



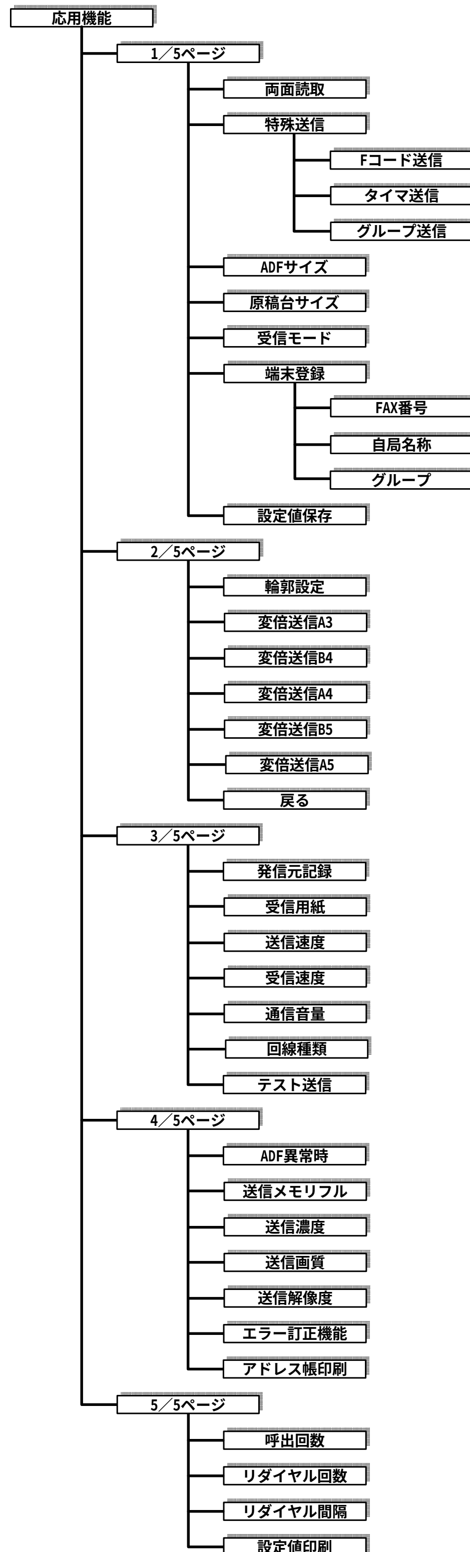
◆応用機能から送信濃度を変更する場合は、それぞれの濃度ボタンを押します。



ボタン	アイコン	説明
		スキャンした原稿をうすくして送信します。
		スキャンした原稿をややうすくして送信します。
		スキャンした原稿のまま送信します。
		スキャンした原稿をややこくして送信します。
		スキャンした原稿をこくして送信します。



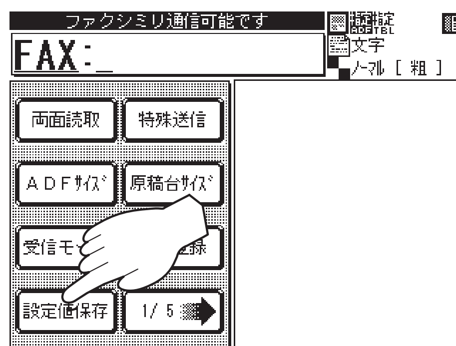
ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。


応用機能
1／5ページ
両面読取
特殊送信
Fコード送信
タイマ送信
グループ送信
ADFサイズ
原稿台サイズ
受信モード
端末登録
FAX番号
自局名称
グループ
設定値保存
2／5ページ
輪郭設定
変倍送信A3
変倍送信B4
変倍送信A4
変倍送信B5
変倍送信A5
戻る
3／5ページ
発信元記録
受信用紙
送信速度
受信速度
通信音量
回線種類
テスト送信
4／5ページ
ADF異常時
送信メモリフル
送信濃度
送信画質
送信解像度
エラー訂正機能
アドレス帳印刷
5／5ページ
呼出回数
リダイヤル回数
リダイヤル間隔
設定値印刷

設定値保存

応用機能で行なった各種変更は、「設定値保存」を行なうことにより、本機のメモリに記憶されます。［リセット］ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと、設定値保存されている状態に戻ります。

1 ファクス応用画面－1／5ページにて、［設定値保存］ボタンを押します。



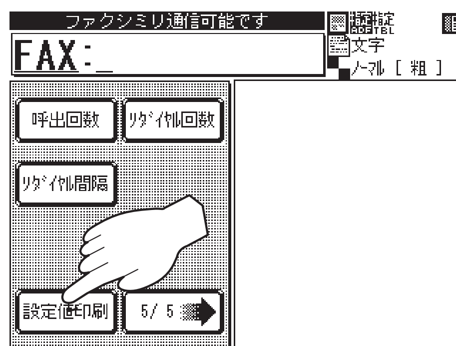


設定値保存を行なわない場合は、［リセット］ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと設定値が失なわれます。

■設定値印刷

ファクスモードに設定されている設定値と設定保存値の印刷を行ないます。

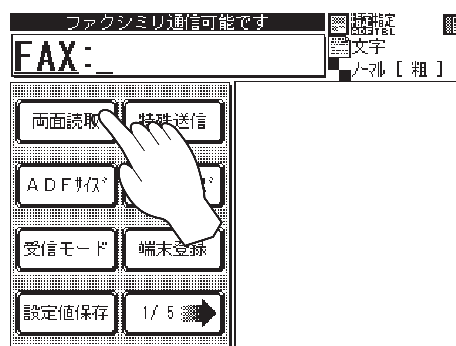
1 ファクス応用画面－5／5ページにて、［設定値印刷］ボタンを押します。



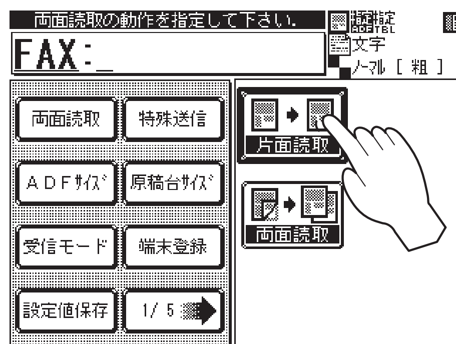
両面読取

両面原稿の表面と裏面を 2 ページに分割して、ファクス送信することができます。
両面読取は、スキャナの原稿台と両面読取式の自動原稿読取装置から行なえます。

1 ファクス応用画面－ 1 ／ 5 ページにて、
［両面読取］ボタンを押します。



2 ［片面読取］／［両面読取］を選択します。



ボタン	アイコン	説明
片面読取		原稿の片面をスキャンします。
両面読取		原稿の両面をスキャンします。

■原稿台から両面原稿をスキャンする

1 両面原稿をスキャナにセットし、相手先番号をダイヤルしてから
スタート ボタンを押します。

2 片面のスキャンが終ると、LCD パネルに原稿の裏返しを促すメッセージが表示されますので、指示にしたがって原稿を裏返します。

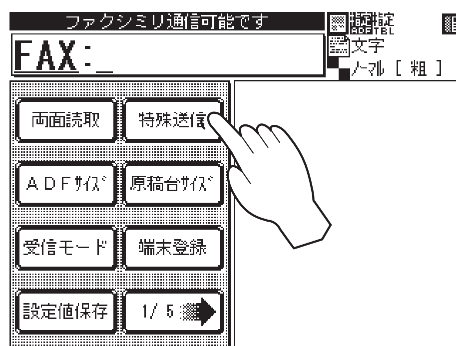


［継続］ボタンを押すと裏面のスキャンを開始します。
［終了］ボタンを押すと、スキャン済みのファクスを送信します。

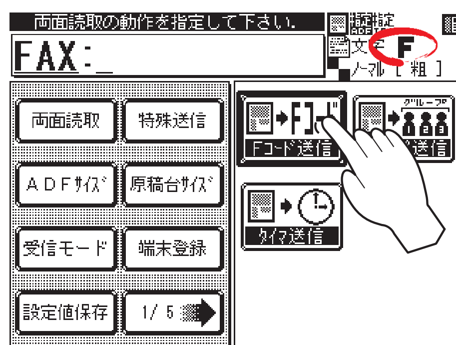
Fコード送信

ファクスにFコードとパスワードを付けて送信することができます。

1 ファクス応用画面ー1／5ページにて、[特殊送信］ボタンを押します。



2 [Fコード送信］ボタンを押して、オン／オフを選択します。
Fコード送信オン時は、「F」アイコンが表示されます。



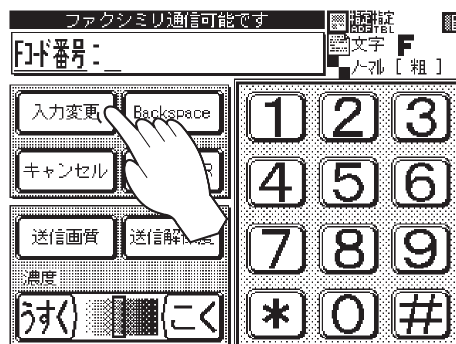


Fコード送信を行なう場合は、送信毎に「Fコード送信」をオンにする必要があります。

■Fコードをつけて送信する

1 原稿をスキャナにセットし、「Fコード送信」をオンにしてから
スタート ボタンを押すと、「Fコード番号」入力画面が表示されます。

2 テンキーでFコードを入力します。
続けてFコードパスワードを入力する場合は、[入力変更］ボタンを押します。



◆Fコードパスワードの入力

3 テンキーでFコードパスワードを入力しします。





［入力変更］ボタンを押すと、「Fコード」「パスワード」「ダイヤル番号」の順に切り替わります。

4 「ダイヤル番号」「Fコード」「パスワード」の入力後、



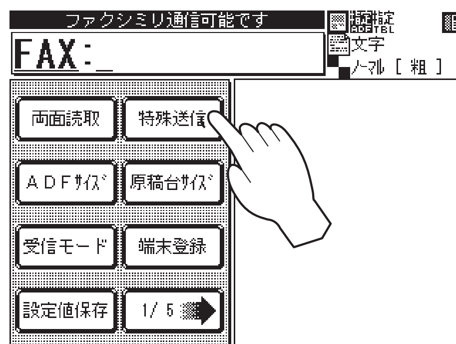
ボタンを押してファクス送信を開始します。

タイマ送信

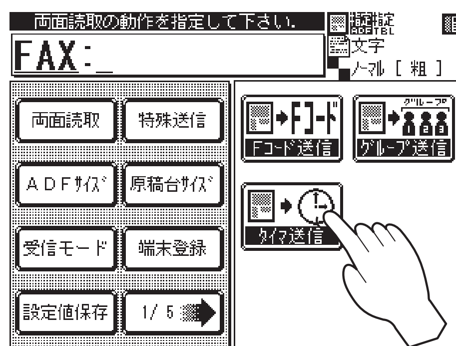
設定した日時に、ファクス送信することができます。通信料の安い時間帯にタイマ送信すると、ファクス送信コストを削減することができます。

■タイマ送信を予約する

1 ファクス応用画面－１／５ページにて、[特殊送信］ボタンを押します。



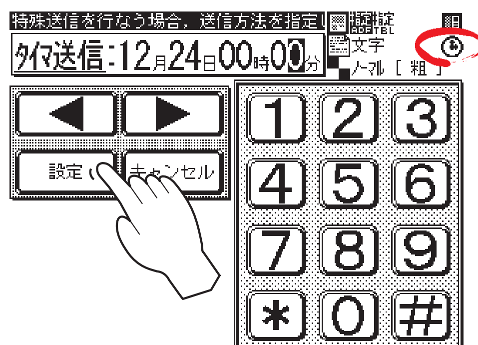
2 [タイマ送信］ボタンを押します。
タイマ送信設定時は、「 」アイコンが表示されます。



3 テンキーで送信日時を入力して、[設定］ボタンを押します。



日付は2桁で、時刻は24時間形式の2桁で入力してください。入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。



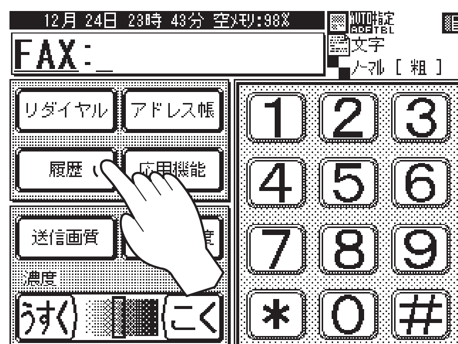
4 原稿をスキャナにセットしてから
（スタート）ボタンを押してファクス送信を開始します。



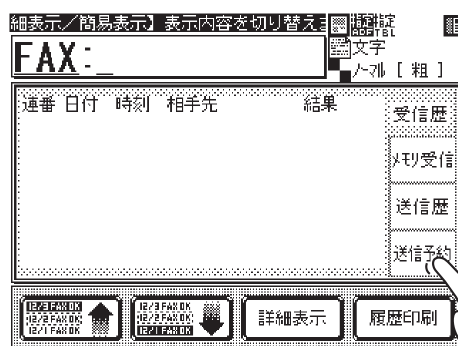
タイマ送信時刻に、本機の電源がオフになっていた場合は、電源投入時にファクス送信を開始します。

■タイマ送信を解除する

1 ファクス基本画面にて、
[履歴] ボタンを押します。



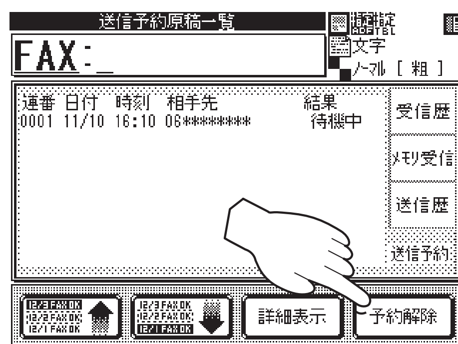
2 [送信予約] タブを押します。



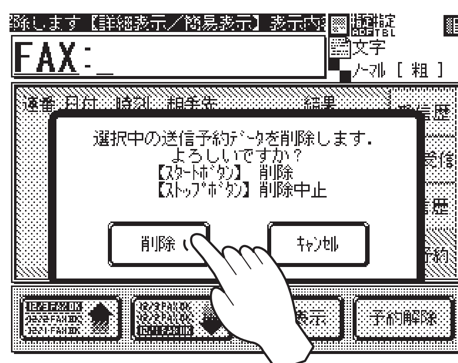
3 [予約解除] ボタンを押します。



[詳細表示] ボタンを押すと、送信予約の詳細を確認できます。詳細表示画面で [簡易表示] ボタンを押すと簡易表示画面に戻ります。



4 [削除] ボタンを押して、送信予約を削除します。

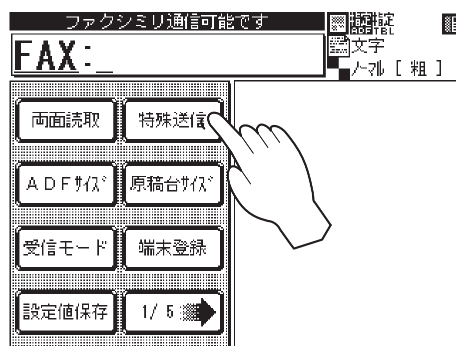


グループ送信

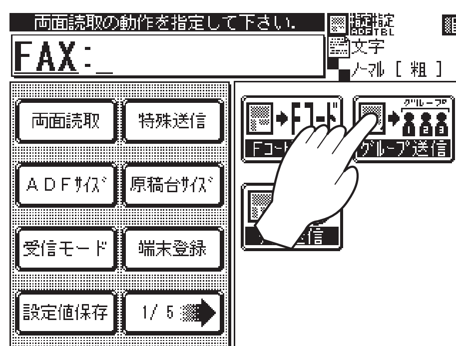
グループに登録されている複数の送信先（最大128件）に、一括してファクス送信します。グループ送信を利用するには、あらかじめアドレス帳に登録されている送信先をグループに登録する必要があります。

■グループからダイヤルする

1 ファクス応用画面－1／5ページにて、[特殊送信] ボタンを押します。



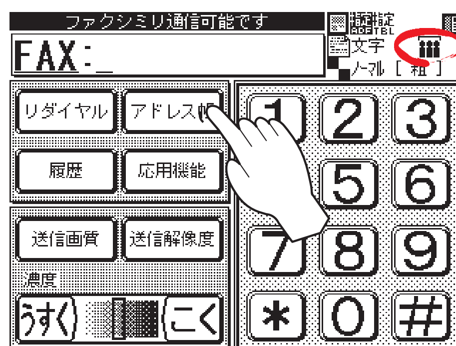
2 [グループ送信] ボタンを押します。
グループ送信設定時は、「 」アイコンが表示されます。



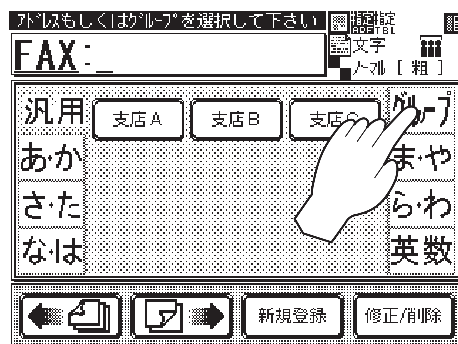
3 ファクス基本画面にて、[アドレス帳] ボタンを押します。



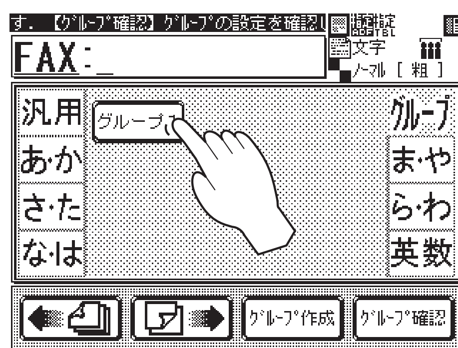
グループ送信アイコン未表示時は、グループ送信できません。



4 アドレス帳画面にて、
［グループ］タブを押します。



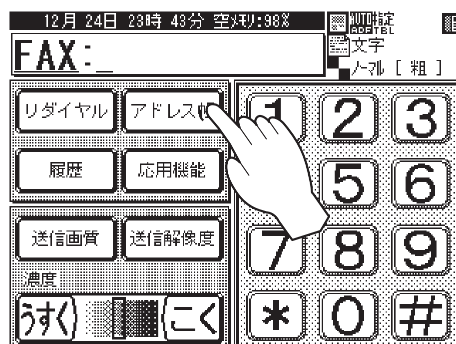
5 グループを選択します。



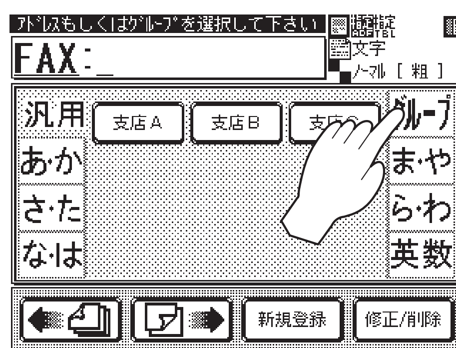
6 原稿をスキャナにセットしてから
スタート
ボタンを押してファクス送信を開始します。

■グループの登録

1 ファクス基本画面にて、
［アドレス帳］ボタンを押します。



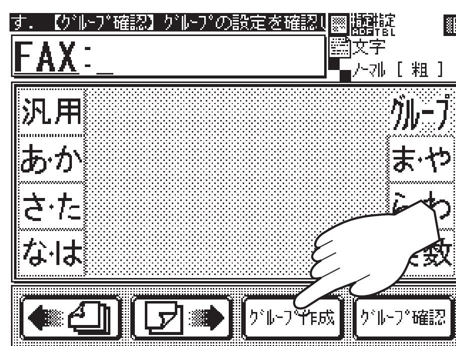
2 ［グループ］タブを押します。



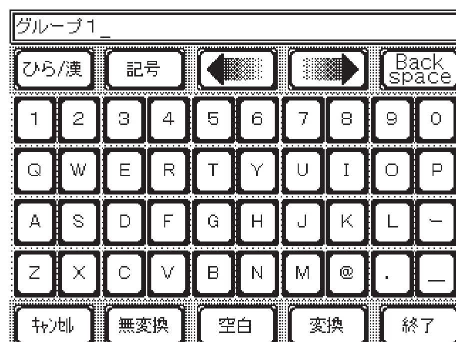
3 ［グループ作成］ボタンを押します。



最大64件のグループが作成できます。



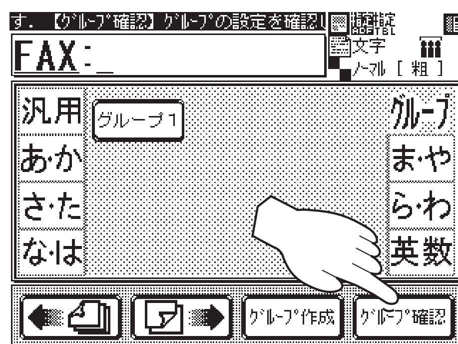
4 グループ名を入力し、
［終了］ボタンを押します。



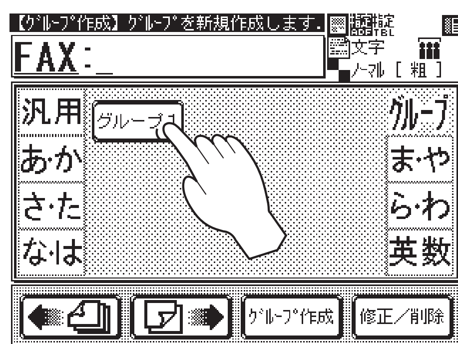
1
2
3
4
5

■グループに送信先を追加／削除する

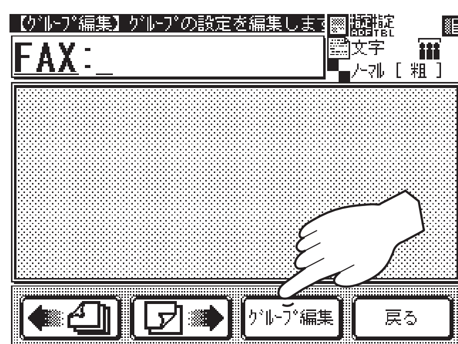
1 アドレス帳ーグループタブ画面にて、［グループ確認］ボタンを押します。



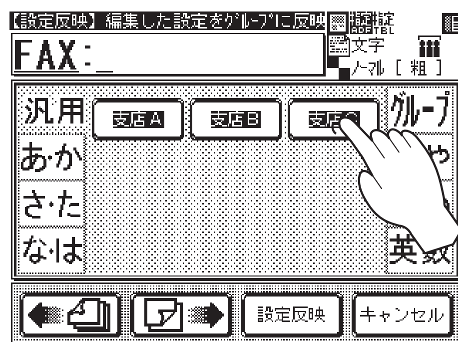
2 グループを選択します。



3 ［グループ編集］ボタンを押します。



4 タグボタンと［←］［→］ボタンを押して、追加する送信先を探し、グループに登録するボタンを押して、表示を反転させます。
設定終了後に、[設定反映] ボタンを押します。





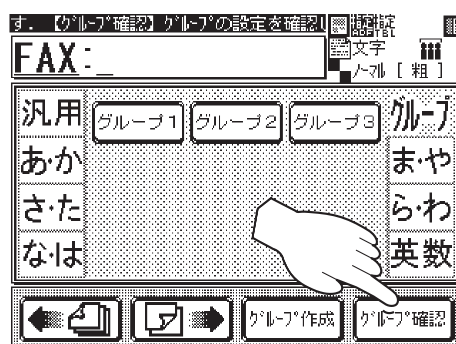
反転表示を解除すると、グループから削除できます。

5 選択した送信先がグループに反映されます。[戻る]ボタンを押して、アドレス帳画面に戻ります。

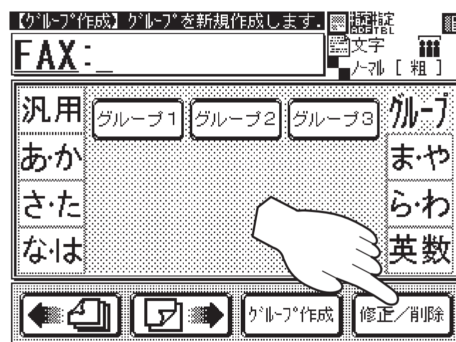


■グループ名を修正する

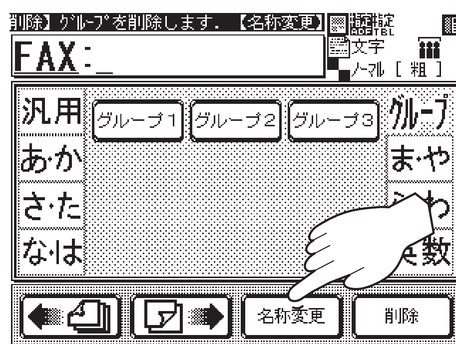
1 アドレス帳ーグループタブ画面にて、[グループ確認] ボタンを押します。



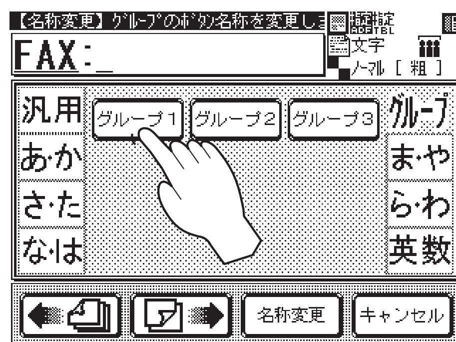
2 [修正／削除] ボタンを押します。



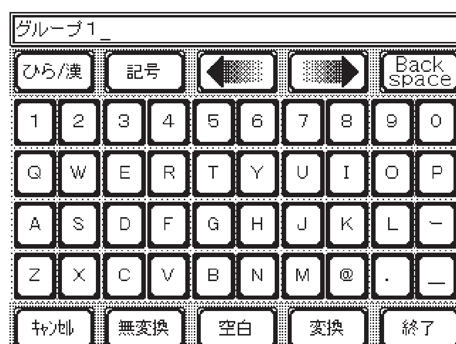
3 [名称変更] ボタンを押します。



4 名称変更するグループを選択します。

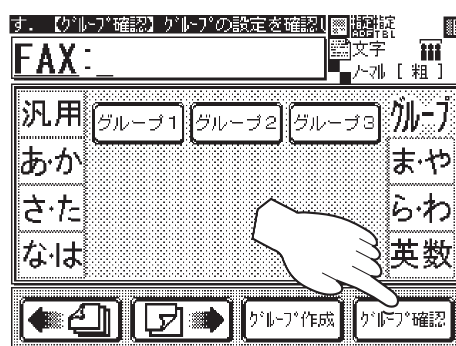


5 グループ名を修正し、
[終了] ボタンを押すとグループ名称変更が
反映されます。

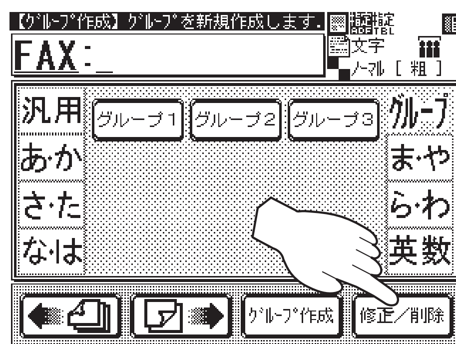


■グループを削除する

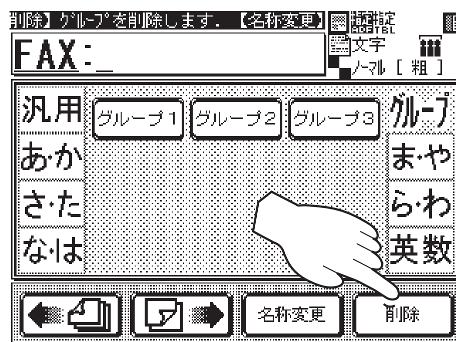
1 アドレス帳ーグループタブ画面にて、
[グループ確認] ボタンを押します。



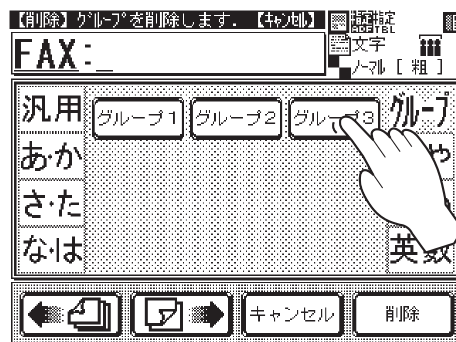
2 [修正／削除] ボタンを押します。



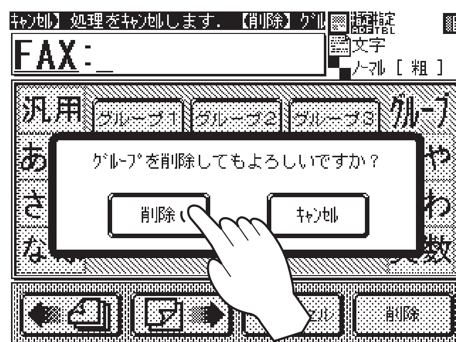
3 [削除] ボタンを押します。



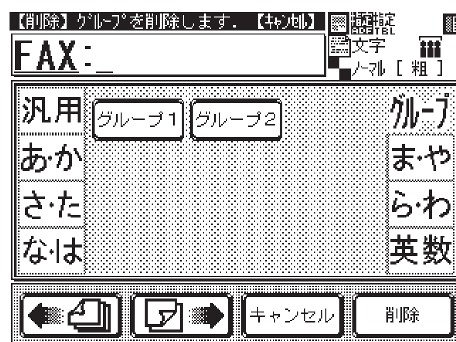
4 削除するグループを選択します。



5 削除確認画面が表示されますので、
[削除] ボタンを押します。



6 削除が反映されます。[キャンセル] ボタンを押して、アドレス帳画面に戻ります。

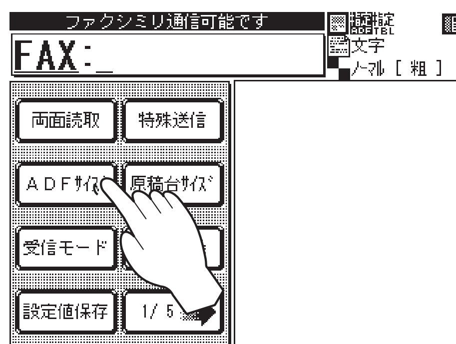


原稿サイズ

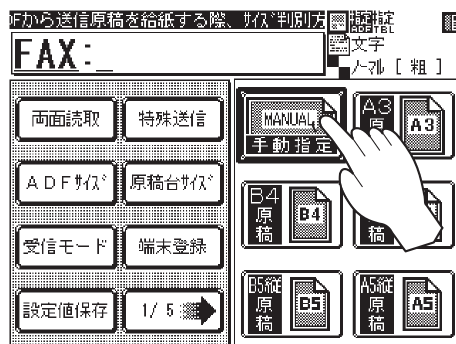
■ ADF サイズ

スキャナの ADF からスキャンする原稿の大きさを設定します。

1 ファクス応用画面－1／5ページにて、[ADF サイズ] ボタンを押します。



2 原稿のサイズを選択します。

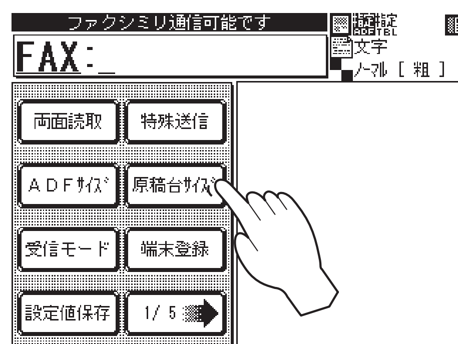


ボタン	説明
AUTO 自動検知	ADFにセットされた原稿サイズに、自動設定します。原稿サイズ自動検知機能付きのADFをご利用時に選択できます。
MANUAL 手動指定	送信原稿の大きさを手動で設定します。ファクス送信時に（スタート）ボタンを押すと原稿サイズ設定画面になりますので、送信毎に設定してください。
A3原稿 A3 / B4原稿 B4	A3、B4原稿です。A3、B4原稿の向きは縦方向だけです。
A4 A4横原稿 / A5 A5横原稿 / B5 B5横原稿	A4、B5、A5の横原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。
A4縦原稿 A4 / A5縦原稿 A5 / B5縦原稿 B5	A4、B5、A5の縦原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。

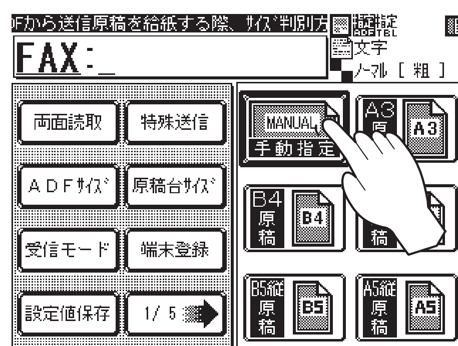
■原稿台サイズ

スキャナの原稿台からスキャンする原稿の大きさを設定します。

1 ファクス応用画面－1／5ページにて、［原稿台サイズ］ボタンを押します。



2 原稿のサイズを選択します。



ボタン	説明
AUTO 自動検知	原稿台にセットされた原稿サイズに、自動設定します。原稿台での原稿サイズ検知対応スキャナをご利用時に選択できます。
MANUAL 手動指定	送信原稿の大きさを手動で設定します。ファクス送信時に スタート ボタンを押すと原稿サイズ設定画面になりますので、送信毎に設定してください。
A3原稿 B4原稿	A3、B4原稿です。A3、B4原稿の向きは縦方向だけです。
A4横原稿 A5横原稿 B5横原稿	A4、B5、A5の横原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。
A4縦原稿 A5縦原稿 B5縦原稿	A4、B5、A5の縦原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。

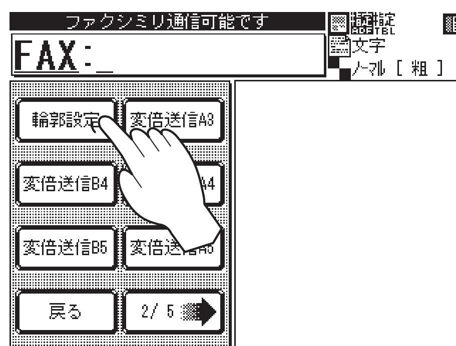


ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。
原稿サイズ設定で表示されるボタンは、本機に接続されているスキャナの能力により異なります。

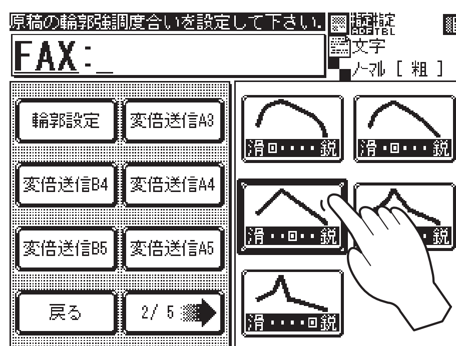
輪郭設定

原稿にあわせて、ファクス送信の輪郭を選択します。

1 ファクス応用画面－2／5ページにて、［輪郭設定］ボタンを押します。



2 輪郭のレベルを選択します。

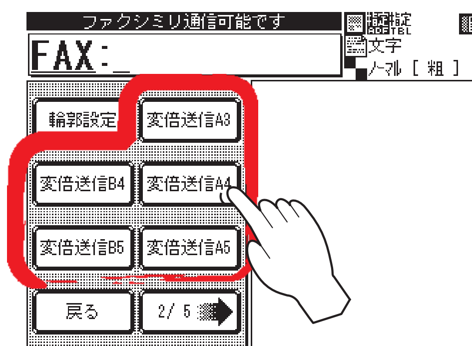


ボタン	説明
薄回・・・・濃	スキャンした原稿の輪郭をソフトにして送信します。
薄・回・・・濃	スキャンした原稿の輪郭をややソフトにして送信します。
薄・・回・・濃	スキャンした原稿の輪郭のまま送信します。
薄・・・回・濃	スキャンした原稿の輪郭をシャープにして送信します。
薄・・・・回濃	スキャンした原稿の輪郭をややシャープにして送信します。

変倍送信

スキャンした原稿を定型サイズに縮小／拡大して送信することができます。

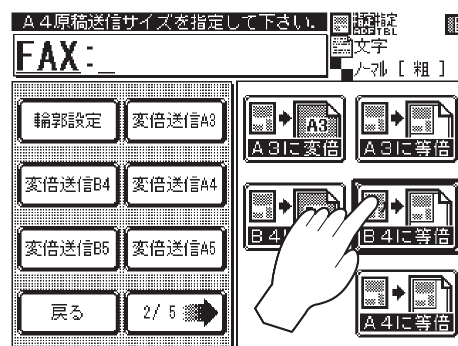
1 ファクス応用画面－２／５ページにて、原稿サイズと同じ大きさの［変倍送信］ボタンを押します。



2 縮小／拡大後のサイズを選択します。



例）右の画面では、A4原稿をB4サイズの用紙へ等倍で貼り付けて、ファクス送信します。



ボタン	説明
A３に変倍　B４に変倍　A４に変倍	スキャンした原稿を、選択したサイズに縮小／拡大して送信します。
A３に等倍　B４に等倍　A４に等倍	スキャンした原稿を、そのまま選択したサイズの原稿に貼り付けて送信します。



本機で送信できる原稿の横幅は、A3、B4、A4サイズです。また、送信する原稿サイズを指定しても、相手機の状態によっては異なるサイズで送信されます。

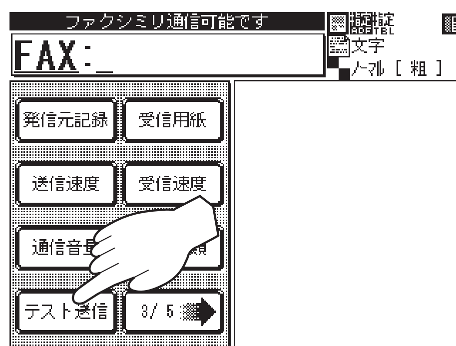
1
2
3
4
5

テスト送信

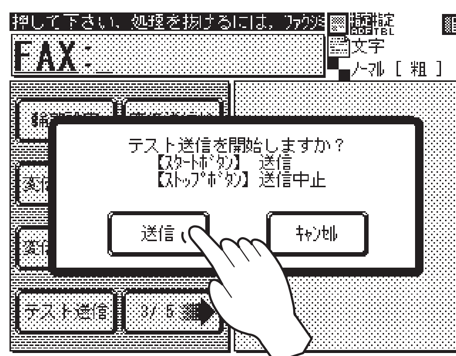
ファクス送信するまえに、原稿がどのような画像で送信されるかを事前にテストすることができます。実際に送信される画像と同じ条件でプリンタから印刷されますので、「送信画質」「送信解像度」「送信濃度」「輪郭」による画像調節の効果や、「原稿サイズ」「変倍送信」による画像サイズを確認することができます。ただし、発信元情報は印刷されません。

1
2
3
4
5

1 ファクス応用画面－3／5ページにて、［テスト送信］ボタンを押します。



2 ［送信］ボタンを押します。



送信ファクスと同じ条件でプリンタから印刷を開始します。

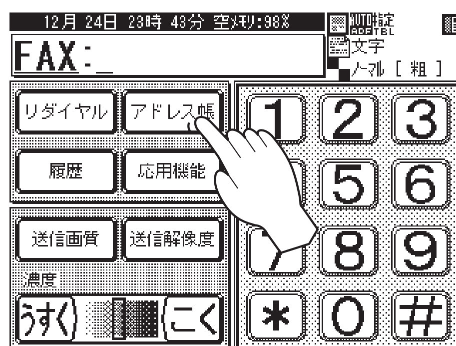


相手機の能力や状態によっては、テストモードと同等の画像が再現できないことがあります。

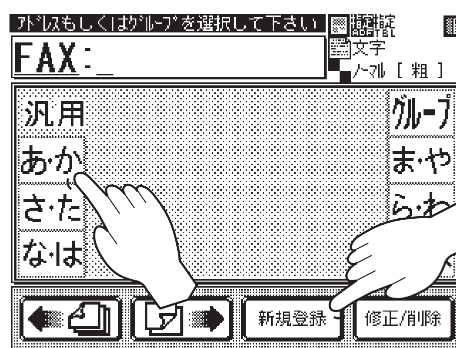
アドレス帳の登録

アドレス帳に送信先を登録します。アドレス帳の最大登録件数は、896 件（1 タブ 128 件）です。

1 ファクス基本画面にて、
［アドレス帳］ボタンを押します。



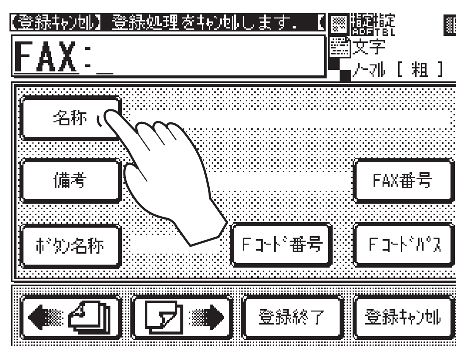
2 送信先を登録するタブを選択し、
［新規登録］ボタンを押します。



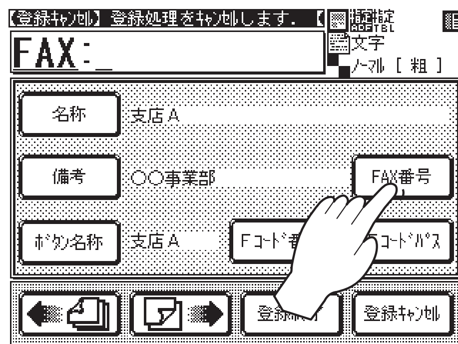
3 ［名称］、［備考］ボタンをそれぞれ押し、ソフトウェアキーボードで入力を行ないます。



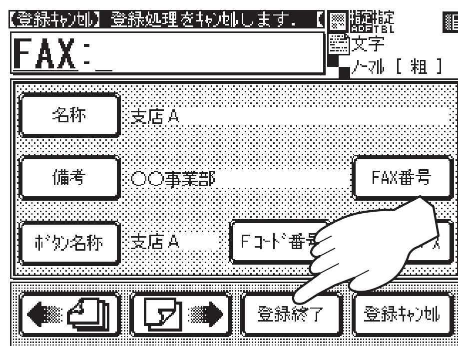
「名称」を入力すると、「ボタン名称」が自動的に入力されます。「ボタン名称」を変更する場合は［ボタン名称］ボタンを押します。



4 [FAX番号] と必要に応じて [Fコード番号]、[Fコードパス] ボタンをそれぞれ押し、テンキーで入力を行ないます。



5 [登録終了] ボタンを押します。



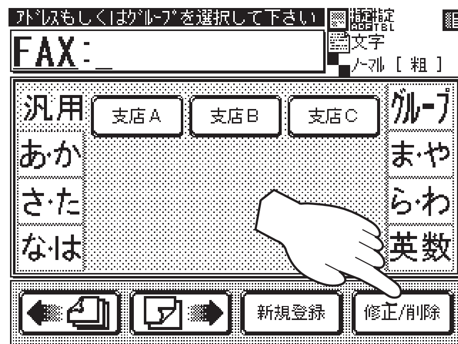


[登録キャンセル] ボタンを押すと、アドレス帳への登録を行ないません。

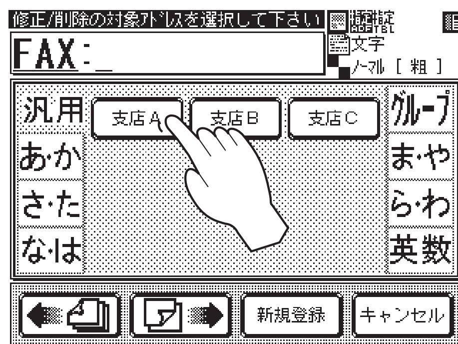
アドレス帳の修正／削除

アドレス帳を修正／削除します。

1 アドレス帳画面にて、[修正／削除] ボタンを押します。



2 修正／削除を行なうボタンを選択します。

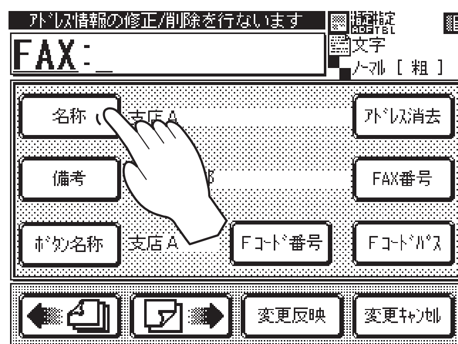


3 **◆アドレス帳修正**

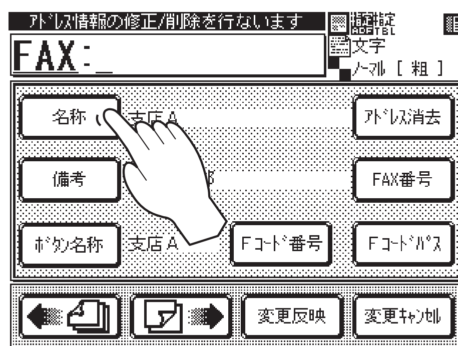
修正する項目のボタンを押し、ソフトウェアキーボード、またはテンキーで修正します。

◆アドレス帳削除

［アドレス消去］ボタンを押してデータをクリアします。



4 **［変更反映］ボタンを押します。**



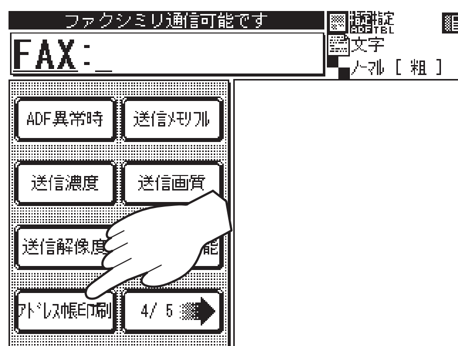
アドレス帳の印刷

本機に登録されているアドレス帳のリストを印刷します。

1 **ファクス応用画面－4／5ページにて、［アドレス帳印刷］ボタンを押します。**



アドレス帳印刷は、A4用紙に印刷します。

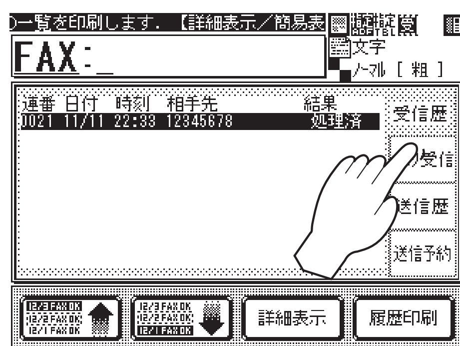


ファクス履歴の確認

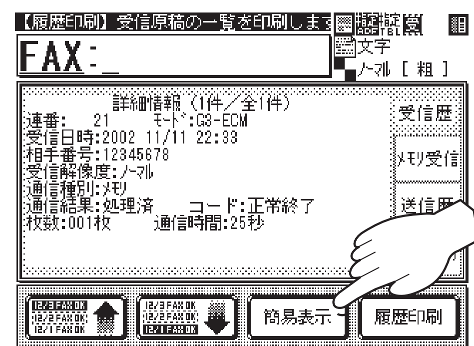
ファクスの送受信履歴の確認や、メモリ受信の印刷、送信予約の解除、履歴リストの印刷を行ないます。

1 ファクス基本画面にて、［履歴］ボタンを押します。

2 タブを押して履歴表示を切り替えます。



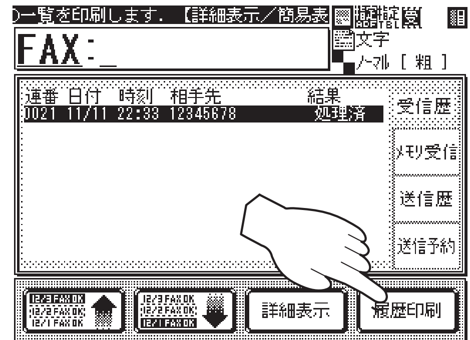
3 ［詳細表示］ボタンを押すと、詳細画面になります。
また､詳細画面の［簡易表示］ボタンを押すと､簡易画面に戻ります。



タブ	説明
受信歴	ファクスの受信歴を表示します。
メモリ受信	メモリ受信したファクスを取り出すことができます。 また、正常終了したファクスの内、最新の3件と印刷エラーとなった受信ファクスを［メモリ印刷］ボタンから印刷することができます。
送信歴	ファクスの送信歴を表示します。
送信予約	タイマ送信の予約状況の確認と、解除を行ないます。

■送信／受信履歴を印刷する

1 ファクス履歴画面ー受信／送信歴タブにて、［履歴印刷］ボタンを押します。





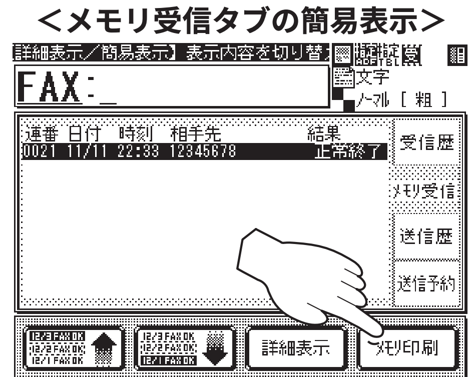
送受信履歴印刷は、85件溜まると自動履歴印刷します。自動履歴印刷した履歴は、送信／受信履歴から削除します。

■メモリ受信を印刷する

メモリ印刷は、メモリ受信したファクスの印刷を行ないます。

1 ファクス履歴画面ーメモリ受信タブにて、［メモリ印刷］ボタンを押します。

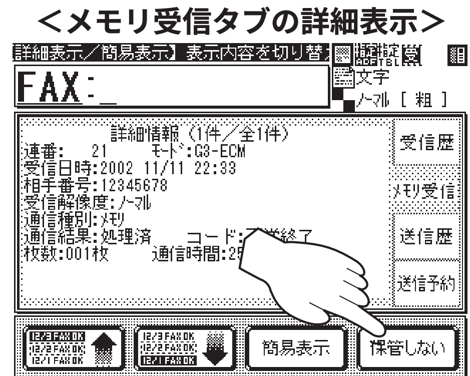
＜メモリ受信タブの簡易表示＞





メモリ受信には、印刷済のファクスが3件保存されています。この3件についても同様に「メモリ印刷」ができます。
メモリ受信したファクスを消去する場合は、詳細表示画面の［保管しない］を押して消去します。

＜メモリ受信タブの詳細表示＞



■履歴を初期化する

1 環境画面ー2／3ページー設定初期化の［FAX全履歴初期化］ボタンより行ないます。

■履歴印刷サンプル

連番
ファクシミリ送受信履歴の管理番号です。

相手先 FAX 番号
通信先のファクシミリ番号です。

解像度
通信時の解像度です。

通信モード

コード
通信結果のコードです。

●受信履歴印刷

＊＊　ＦＩＴＦＡＸ５００　受信履歴印刷　＊＊　　２００３年　１月　７日　９時　１分　１ページ

連番	受信日時	相手先ＦＡＸ番号	通信モード	解像度	枚数	通信速度	通信時間	結果	コード
00005	1/ 7　08:37	0667843750	G3-NORMAL	U.ﾌｧｲﾝ	1	14400	40s	通信ミス	通信異常B

●メモリ受信履歴印刷

＊＊　ＦＩＴＦＡＸ５００　メモリ受信履歴印刷　＊＊　　２００３年　１月　７日　９時　２分　１ページ

連番	受信日時	相手先ＦＡＸ番号	通信モード	解像度	枚数	通信速度	通信時間	結果	コード
00003	1/ 7　07:48	0334555343	G3-ECM	ﾌｧｲﾝ	2	14400	150s	印刷済	正常終了

●送信履歴印刷

＊＊　ＦＩＴＦＡＸ５００　送信履歴印刷　＊＊　　２００３年　１月　７日　９時　３分　１ページ

連番	送信日時	相手先ＦＡＸ番号	通信モード	解像度	枚数	通信速度	通信時間	結果	コード
00002	1/ 7　07:21	0667843750	G3-ECM	S.ﾌｧｲﾝ	1	12000	40s	正常終了	−−−−−−−

画質
通信時の画質です。

●送信予約履歴印刷

＊＊　ＦＩＴＦＡＸ５００　送信予約履歴印刷　＊＊　　２００３年　１月　６日　２１時１０分　１ページ

連番	予約受付日時	送信予定日時	相手先ＦＡＸ番号	通信モード	解像度	画質	枚数
00001	1/ 6　21:03	1/ 7　07:00	0667303767	G3-NORMAL	S.ﾌｧｲﾝ	文字	１枚

●送受信履歴印刷（自動履歴印刷）

＊＊　ＦＩＴＦＡＸ５００　送受信履歴印刷　＊＊　　２００３年　１月　７日　９時　５分　１ページ

連番	通信日時	区分	相手先ＦＡＸ番号	通信モード	解像度	枚数	通信時間	結果	コード
00001	1/ 7　07:00	送Ｔ	0667303767	G3-NORMAL	ﾉｰﾏﾙ	１枚	４０秒	正常終了	−−−−−−−
00002	1/ 7　07:21	送信	0667843750	G3-ECM	S.ﾌｧｲﾝ	１枚	４０秒	正常終了	−−−−−−−
00003	1/ 7　07:48	受Ｍ	0334555343	G3-ECM	ﾌｧｲﾝ	２枚	１５０秒	印刷済	正常終了
00004	1/ 7　08:15	送信	0334552886	G3-NORMAL	U.ﾌｧｲﾝ	１枚	２３４秒	正常終了	−−−−−−−
00005	1/ 7　08:37	受信	0667843750	G3-NORMAL	U.ﾌｧｲﾝ	１枚	４０秒	通信ミス	通信異常B

通信日時
通信日時です。

結果
通信結果です。

区分
通信区分です。
送信：通常送信
受信：通常受信
送Ｔ：タイマ送信
受Ｍ：メモリ受信

通信時間

枚数
通信した枚数です。

3章

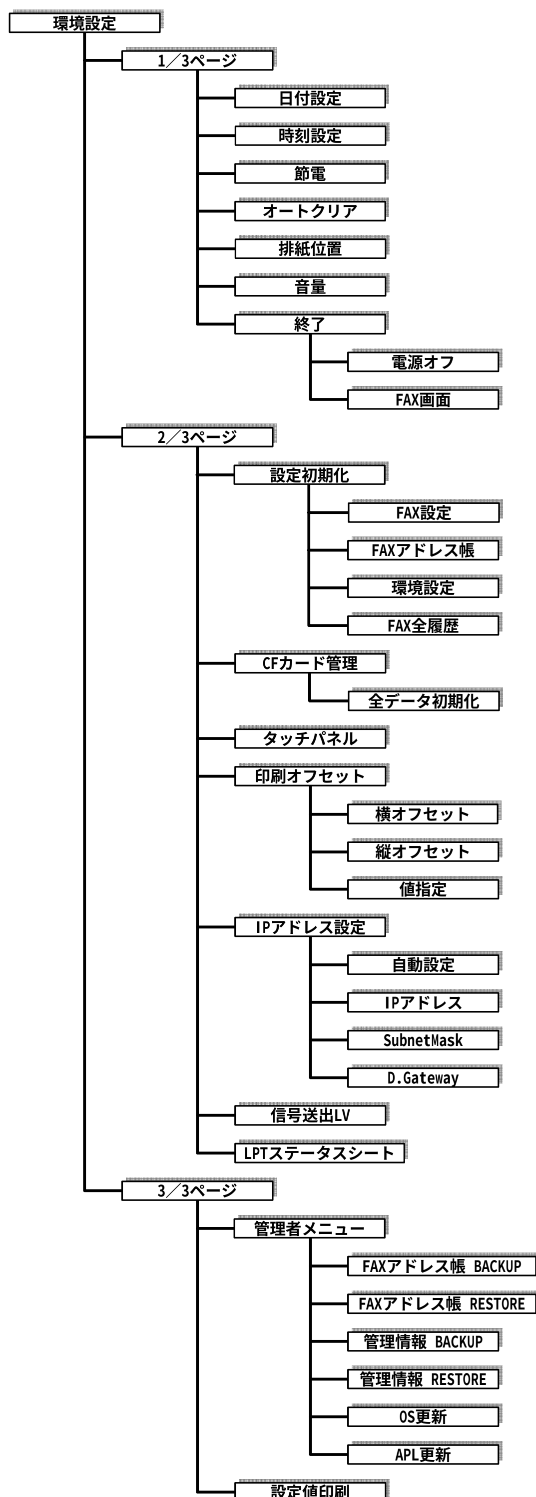
運用管理

■目次

環境設定 3-2
環境設定とは 3-2
■環境設定画面 3-3
日付設定 3-4
時刻設定 3-4
節電設定 3-5
オートクリア設定 3-6
排紙位置設定 3-7
音量設定 3-8
設定初期化 3-9
CF カード管理 3-10
タッチパネルの再調整 3-11
プリンタオフセット設定 3-12
IP アドレス設定 3-13
■自動設定 3-13
■手動設定 3-14
信号送出 LV 3-16
LPT ステータスシート 3-17
管理者メニュー 3-18
設定内容バックアップ 3-18
設定内容リストア 3-19
ファームウェアの
バージョンアップについて 3-21
■バージョンの確認 3-21
■バージョンアップ用
CF カードの作成 3-21
■バージョンアップ 3-22

環境設定とは

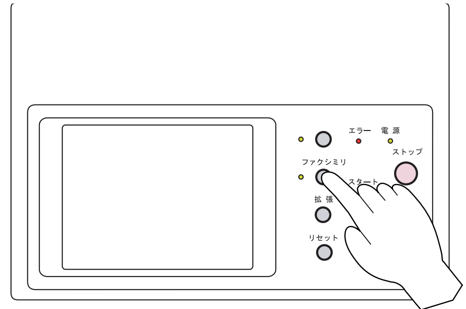
環境設定は、本機の各種設定を行なうためのモードです。



■環境設定画面

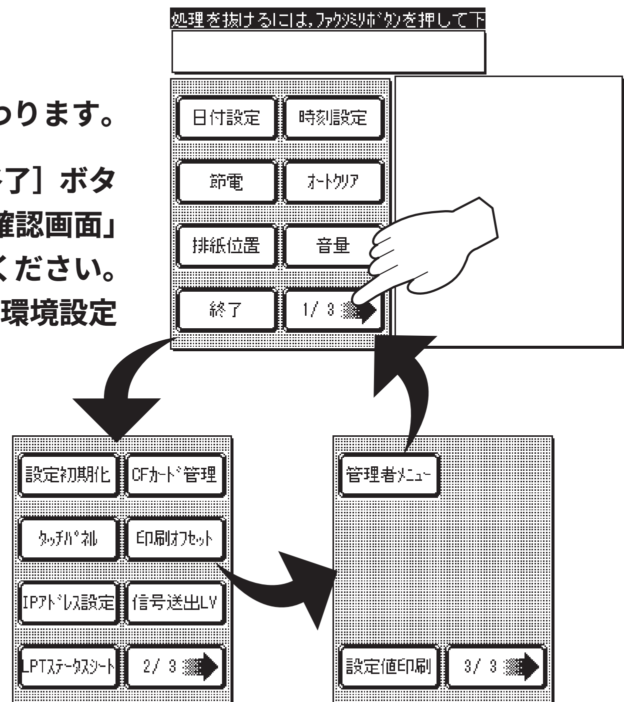
環境設定画面へは、以下の操作で入ることができます。

1 ファクスモード中に［ファクシミリ］ボタンを押します。



2 環境設定画面が表示されます。
［1／3→］ボタンを押すごとに、
「2／3→」、「3／3→」と切り替わります。

環境設定画面を抜ける場合は、［終了］ボタン押下後に表示される「電源遮断確認画面」にて［FAX画面］ボタンを押してください。
［ファクシミリ］ボタンを押しても環境設定画面を抜けることができます。



次のページからの
環境設定へ進んでください。

日付設定

本機の日付を設定します。



「製品導入時の設定」－「日付設定」→1-20を参照してください。

時刻設定

本機の時刻を設定します。

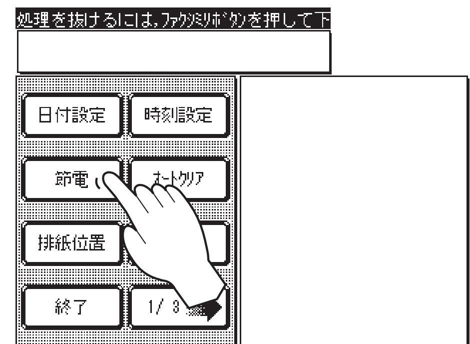


「製品導入時の設定」－「時刻設定」→1-21を参照してください。

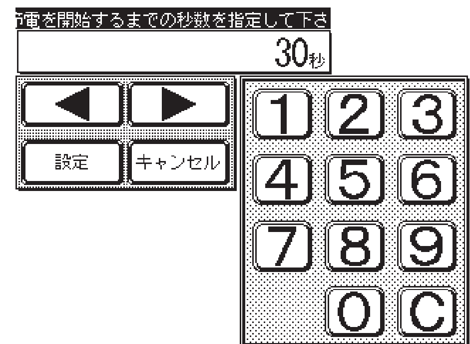
節電設定

本機は、一定時間操作を行なわなかった場合に、タッチパネルディスプレイの表示をオフにすることができます。ここでは、節電モードに入るまでの時間設定を行ないます。

1 環境設定画面－1／3ページにて、［節電］ボタンを押します。



2 テンキーで時間を入力してから、［設定］ボタンを押します。
環境設定画面に戻ります。





［C］ボタンを押すと初期値にリセットします。
節電時間は10～999秒の範囲で入力してください。節電機能をオフにする場合は、0秒を設定してください。
入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

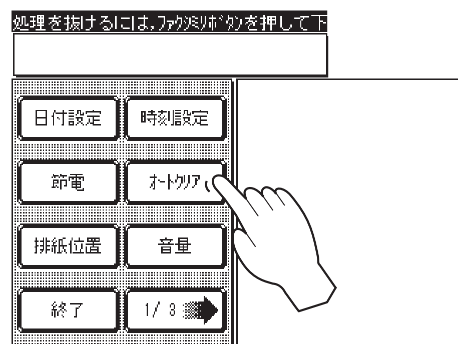


節電状態を解除するには、タッチパネルディスプレイ／操作パネル上のいずれかのボタンを押してください。

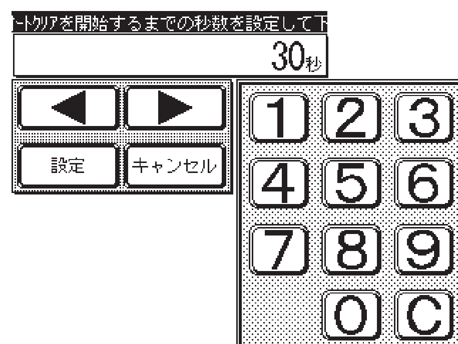
オートクリア設定

本機は、一定時間操作を行なわなかった場合に、設定値保存した状態にリセットします。ここでは、オートクリアするまでの時間設定を行ないます。

1 環境設定画面－1／3ページにて、［オートクリア］ボタンを押します。



2 テンキーで時間を入力してから、[設定] ボタンを押します。
環境設定画面に戻ります。



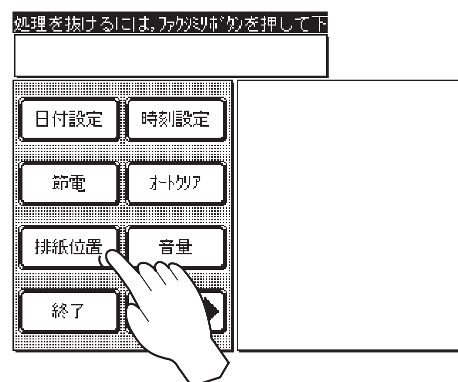


[C] ボタンを押すと初期値にリセットします。
オートクリア時間は10～999秒の範囲で入力してください。オートクリア機能をオフにする場合は、0秒を設定してください。
入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

排紙位置設定

ファクスの排紙位置を指定することができます。

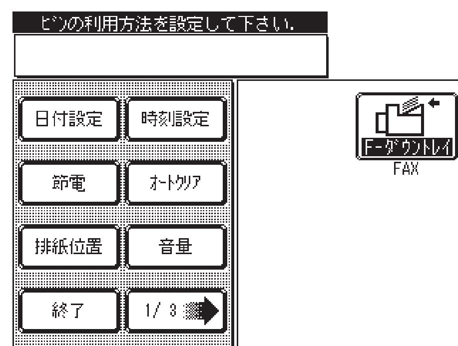
1 環境設定画面－1／3ページにて、
［排紙位置］ボタンを押します。



2 ［F-ダウントレイ］ボタンを押してFAXの排紙位置を設定します。



ご利用のプリンタの能力により、選択できる排出位置が異なります。

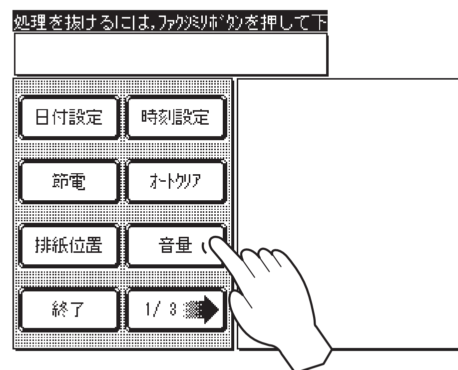


ボタン	説明
F-ﾀﾞｳﾝﾄﾚｲ	フェイスダウントレイから排出します。
F-ｱｯﾌﾟﾄﾚｲ	フェイスアップトレイから排出します。

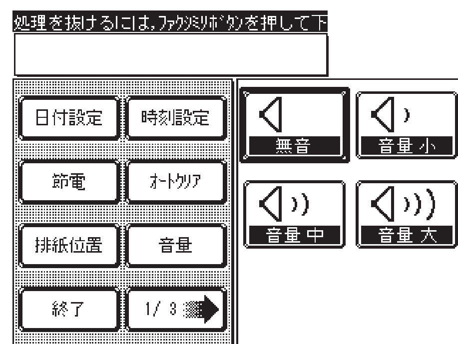
音量設定

本機のタッチパネル操作時のビープ音量を設定します。

1 環境設定画面－1／3ページにて、
［音量］ボタンを押します。



2 音量を選択します。

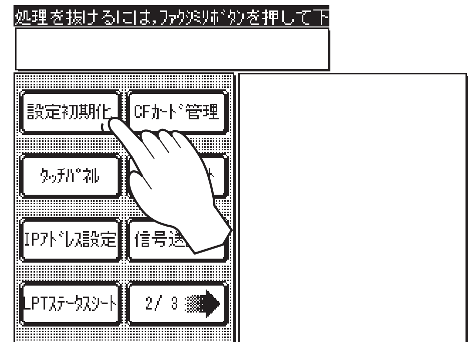


ボタン	説明
無音	音が出ません。
音量 小	小さい音が出ます。
音量 中	中の音が出ます。
音量 大	大きな音が出ます。

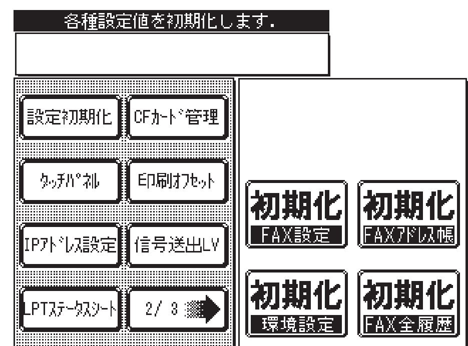
設定初期化

本機に登録されている各機能の設定値を初期化します。

1 環境設定画面－2／3ページにて、
［設定初期化］ボタンを押します。



2 初期化する機能のボタンを押します。



3 初期化確認メッセージが表示されます。
初期化を行なう場合は、［初期化］ボタンを押してください。



一度初期化を行なうと、設定を復元することはできません。

ボタン	説明
初期化 FAX設定	ファクスモードの各種設定を初期化します。
初期化 環境設定	環境設定を初期化します。
初期化 FAXｱﾄﾞﾚｽ帳	ファクスのアドレス帳を初期化します。
初期化 FAX全履歴	ファクスの履歴を消去します。

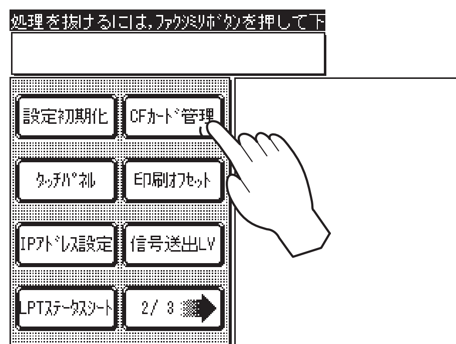
例）FAX設定初期化



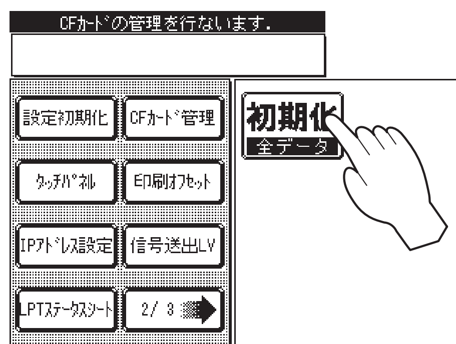
CF カード管理

CF カードの初期化を行ないます。CF カードには、送信予約ファクス、メモリ受信ファクス、本機の各種ログ、本体設定値バックアップデータが保存されています。CF カードを初期化することにより、CF カードの空き容量が増えます。

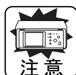
1 環境設定画面ー 2 ／ 3 ページにて、[CF カード管理] ボタンを押します。



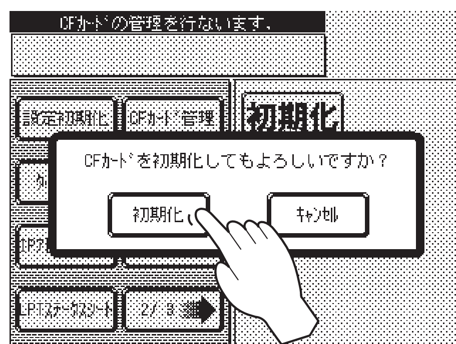
2 [全データ初期化] ボタンを押します。



3 初期化確認メッセージが表示されます。
初期化を行なう場合は、[初期化] ボタンを押してください。



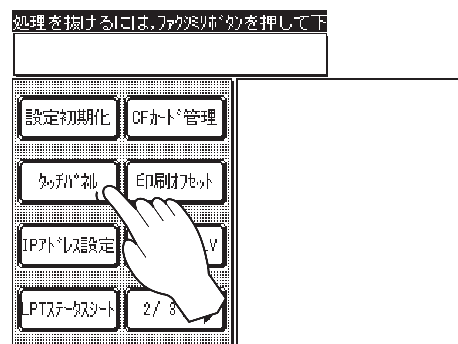
一度初期化を行なうと、CFカード内のデータを復元することはできません。



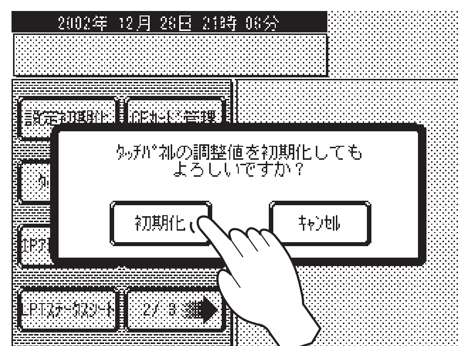
タッチパネルの再調整

本機のタッチパネル補正の調整を行ないます。

1 環境設定画面ー 2 ／ 3 ページにて、
［タッチパネル］ボタンを押します。



2 初期化確認メッセージが表示されます。
初期化を行なう場合は、［初期化］ボタンを
押してください。



3 次回電源投入時に、タッチパネル調整画面が表示されますので、タッチパネルの調整を行なってください。

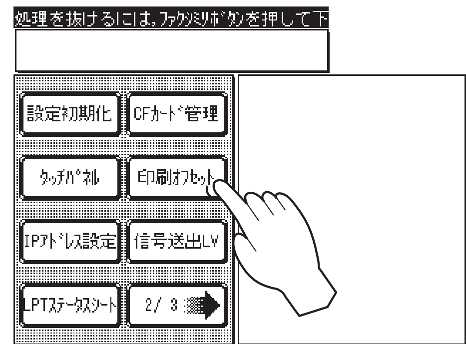


「製品導入時の設定」－「タッチパネルの調整」→1-15 を参照してください。

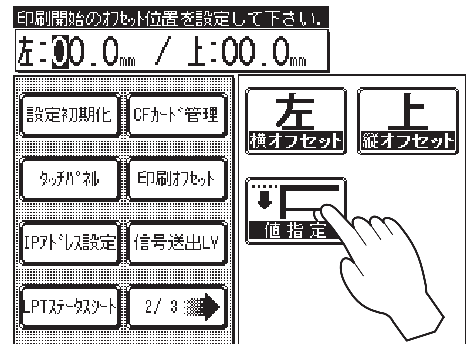
プリンタオフセット設定

プリンタのオフセット（印刷位置）の調整を行ないます。

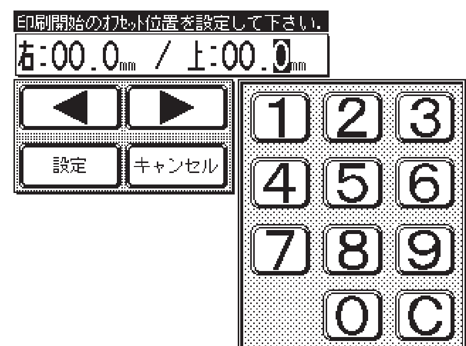
1 環境設定画面－2／3ページにて、
［印刷オフセット］ボタンを押します。



2 ［横オフセット］／［縦オフセット］ボタンを押して、「左」「右」または「上」「下」のどちらにオフセットを設定するかを選択し、［値指定］ボタンを押します。



3 テンキーでオフセット値を入力し、
［設定］ボタンを押します。



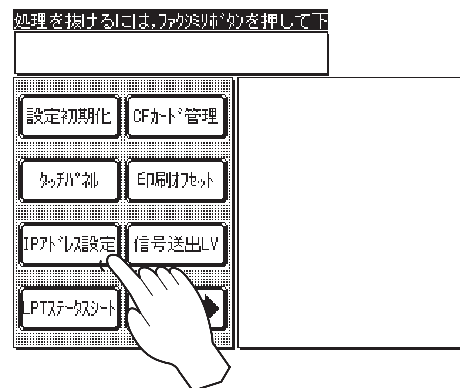
IP アドレス設定

本機のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

1 環境設定画面－2／3ページにて、[IP アドレス設定] ボタンを押します。

設定方法に応じて、以下の設定に進んでください。

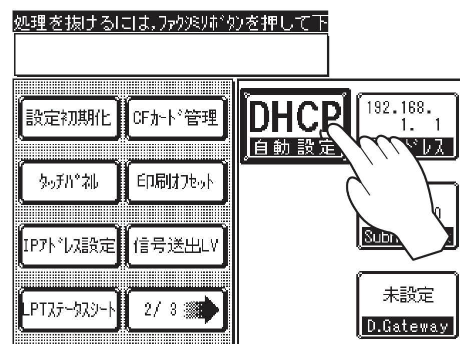
■自動設定　→3-13ページ
■手動設定　→次ページ



■自動設定

DHCPサーバから割り当てられたIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスを本機に自動的に設定します。

1 [自動設定]ボタンを押します。



2 [確認] ボタンを押してください。
DHCPによる自動設定は、再起動時に行ないます。

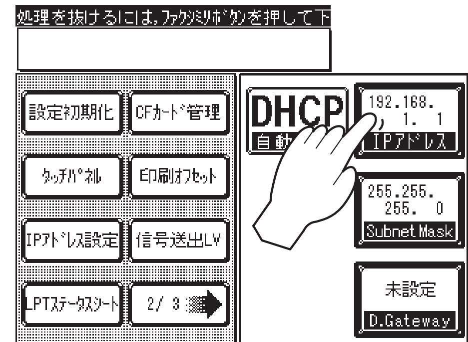


■手動設定

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトトゲートウェイアドレスを手動で設定します。

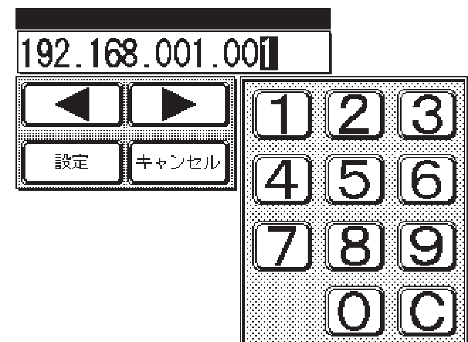
◆ IP アドレス設定

1 [IP アドレス]ボタンを押します。



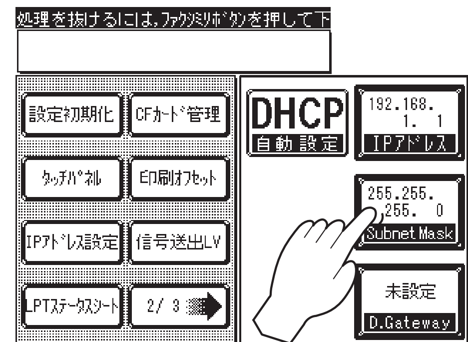
2 テンキーで IP アドレスを入力して、[設定] ボタンを押します。

名称	工場出荷時の初期値
本体IPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0

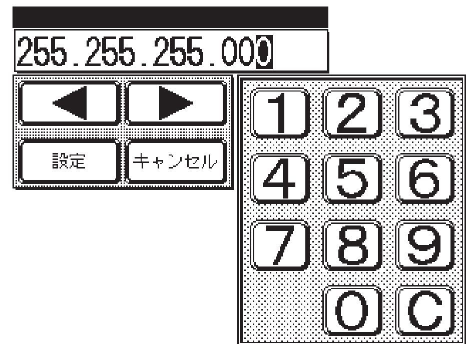


◆サブネットマスク設定

3 [SubnetMask]ボタンを押します。

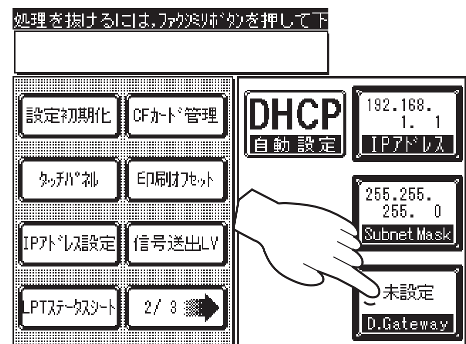


4 テンキーでサブネットマスクを入力して、［設定］ボタンを押します。

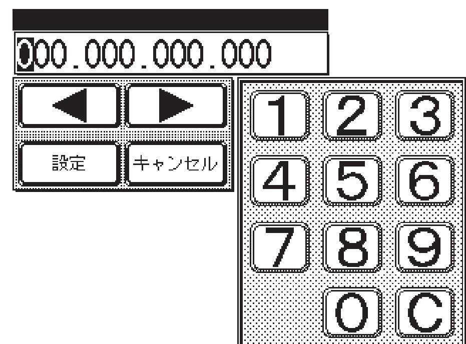


◆デフォルトゲートウェイアドレス設定

5 [D.Gateway]ボタンを押します。



6 テンキーでデフォルトゲートウェイアドレスを入力して、［設定］ボタンを押します。

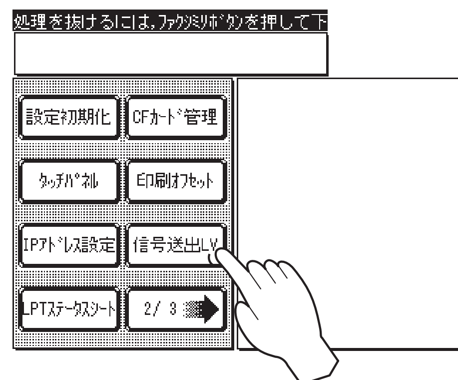


補足 アドレスは3桁で入力してください。値が不正な場合は、入力が受け付けられません。
例：（可)192.168.001.011

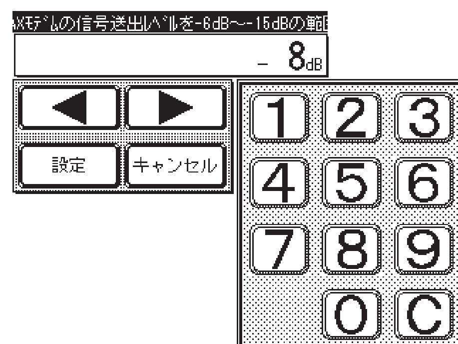
信号送出 LV

本機に内蔵されているファクスモデムの信号の大きさを設定します。

1 環境設定画面－２／３ページにて、
[信号送出 LV]ボタンを押します。



2 テンキーで信号の大きさを入力して、
［設定］ボタンを押します。



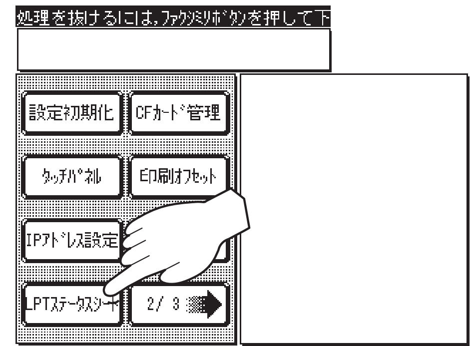


[C] ボタンを押すと初期値にリセットします。
信号送出 LV は -6～-15dB の範囲で入力してください。
入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

LPT ステータスシート

プリンタのステータスシートを本機から印刷することができます。

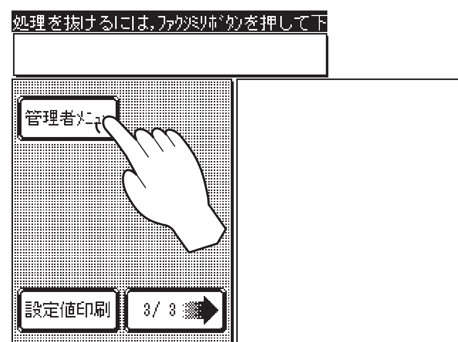
1 環境設定画面－2／3ページにて、
[LPT ステータスシート]ボタンを押します。



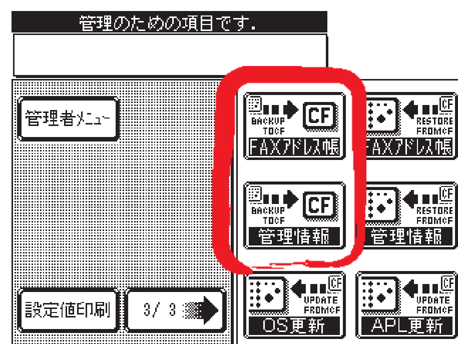
設定内容バックアップ

本機に設定されている、FAX アドレス帳、環境設定情報を CF カードに保存し、バックアップを行なうことができます。

1 環境設定画面－3／3 ページにて、
［管理者メニュー］ボタンを押します。



2 バックアップを行なう項目を選択します。



ボタン	作成されるファイル	説明
BACKUP TOCF CF FAXｱﾄﾞﾚｽ帳	ffax_adr.dat ffax_grp.dat	ファクスのアドレス帳、グループデータをバックアップします。
BACKUP TOCF CF 管理情報	ffaxopti.dat ffaxfax.dat	環境設定情報をバックアップします。



バックアップで作成されたファイルをパソコンに保存することで、2 重にバックアップを行なうことが出来ます。バックアップファイルをパソコンで直接編集することはできません。

3 バックアップが完了しました。
［確認］ボタンを押してください。



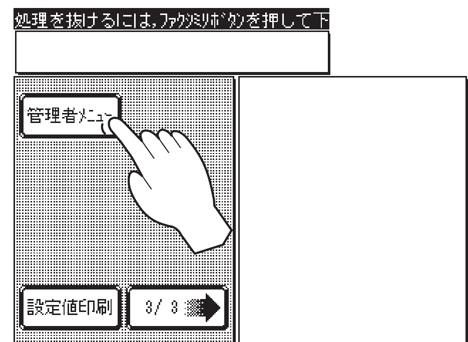
バックアップデータがすでにＣＦカードに存在する場合は、上書きを確認する画面になります。
上書きする場合は、［確認］ボタンを押してください。



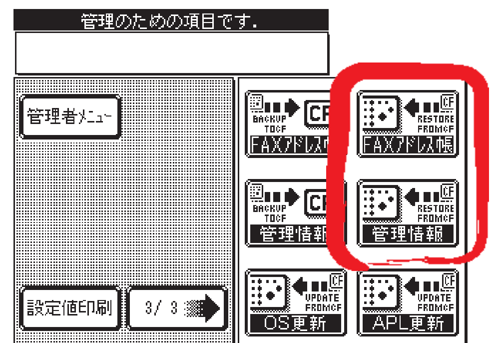
設定内容リストア

CF カードにバックアップしてある各種設定を本機に戻します。

1 環境設定画面－３／３ページにて、
［管理者メニュー］ボタンを押します。



2 リストアを行なう項目を選択します。

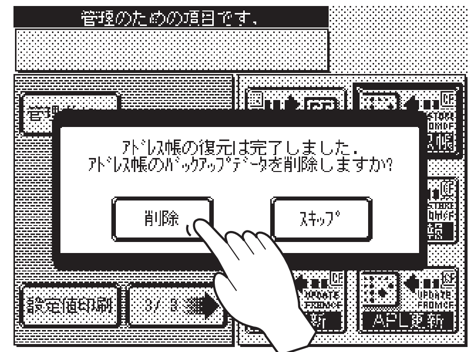


ボタン	リストア元のファイル	説明
RESTORE FROMCF FAXアドレス帳	ffax_adr.dat ffax_grp.dat	ファクスのアドレス帳、グループデータをリストアします。
RESTORE FROMCF 管理情報	ffaxopti.dat ffaxfax.dat	環境設定情報をリストアします。

3 ［確認］ボタンを押してください。



4 リストアが完了しました。
バックアップファイルを削除する場合は、
［確認］ボタンを押してください。
バックアップファイルを残しておく場合は、
［スキップ］ボタンを押してください。



ファームウェアのバージョンアップについて

CF カードによる本機のファームウェアのバージョンアップを行ないます。最新のファームウェアは、弊社ホームページ（www.silex.jp）にて随時公開しております。ファームウェアのバージョン確認方法については、次の「バージョンの確認」をご覧ください。

■バージョンの確認

ファームウェアのバージョンは、設定値印刷の後方に印刷されます。設定値印刷は、ファクスモードの応用機能画面、または環境設定画面にある［設定値印刷］ボタンを押して行ないます。

＊＊　ＦＩＴＦＡＸ５００　設定値印刷　＊＊　　２００３年　１月　７日　１５時　６分

ＦＡＸ機能	設定保存値	
両面読取	片面読取	片面読取
ＡＤＦサイズ	自動検知	自動検知
原稿サイズ	手動検知	
受信モード	通常受信	
輪郭設定	標準	
変倍送信＜Ａ３＞	等倍のままＡ３サ	等倍のままＡ３サイズで送信
変倍送信＜Ｂ４＞	等倍のま	等倍のままＢ４サイズで送信
	ズで送信	等倍のままＡ４サイズで送信
	３０秒	
ＦＡＸ機能　ビン設定	フェイスダウン	
音量	無音	

ソフトウェア環境	
ＯＳバージョン	１．００
ＡＰＬバージョン	１．００

ハードウェア環境	
ＭＡＣアドレス	００：８０：９２：３０：３ａ
ＩＰアドレス	１９２．１６８．　３０．１６３
ＭＡＣアドレス	２５５．２５５．２５５．　０
ゲートウェイアドレス	１９２．１６８．　３０
ＣＦカード	［３０ＭＢ］
スキャナ	ＥＳ－６０

■バージョンアップ用 CF カードの作成

入手したバージョンアップ用ファームウェアを、本機に装着されている CF カード、または別途ご用意頂いた CF カードのルートにコピーしてください。

ファイル名	プログラム名	説明
osdata.bin	OSバージョンアッププログラム	OSのバージョンアップで使用します。
mpsfxcf.exe	APLバージョンアッププログラム	APLのバージョンアップで使用します。

CF カードに、バージョンアップ用ファームウェアの準備ができましたら、次のページに進んでください。

1
2
3
4
5

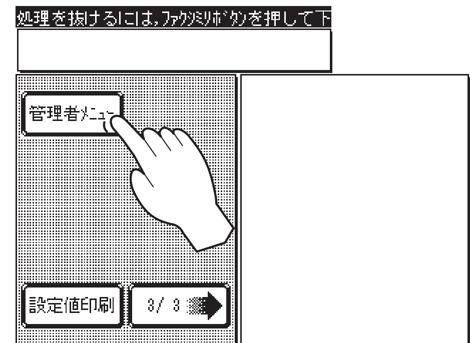
■バージョンアップ

1 本機の電源がオフの状態で、バージョンアップ用ファームウェアの入ったCFカードを本機に装着します。

2 本機の電源をオンにします。

3 本機の起動が完了しましたら、環境設定画面—3／3ページに入ります。

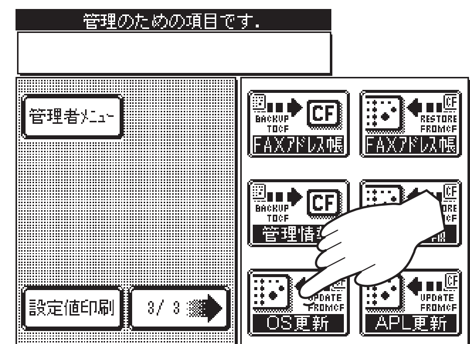
4 [管理者メニュー］ボタンを押します。



5 [OS更新］ボタンを押します。



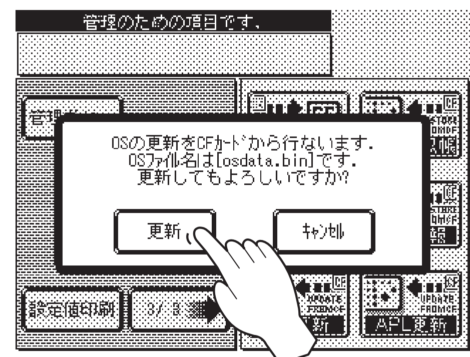
必ず［OS更新］ボタンを押してください。OSの更新前に［APL更新］ボタンを押すと、本機が起動出来なくなることがあります。



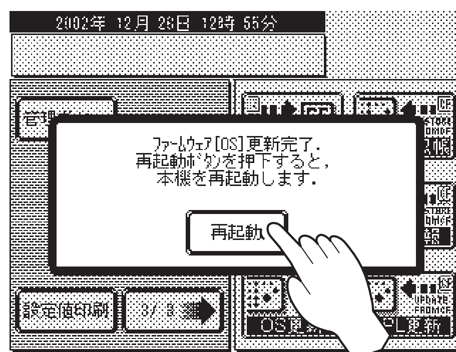
6 [更新］ボタンを押すと、OSの更新を開始します。



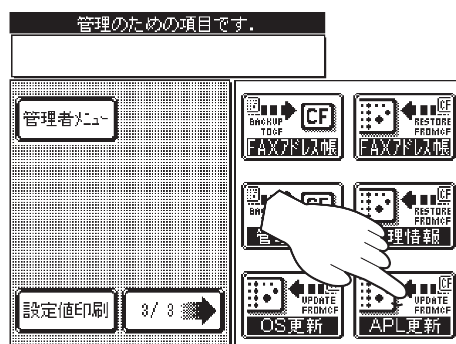
OS更新中に、本機の電源をオフにしないでください。



7 OSの更新が完了しました。
［再起動］ボタンを押して、本機を再起動させてください。



8 本機の再起動が完了しましたら、環境設定画面―3／3ページ―管理者メニューにて［APL更新］ボタンを押します。



9 ［更新］ボタンを押すと、
APLの更新を開始します。



APL更新中に、本機の電源をオフにしないでください。



10 APLの更新が完了しました。
［再起動］ボタンを押して、本機を再起動させてください。



これでファームウェアのバージョンアップは終了です。
バージョンアップで使用したCFカードからファームウェアを削除して、
CFカードの空き容量を増やしてください。

ページ

白　紙

4章

困ったときは

■目次

エラーメッセージ 4-2
エラー発生について 4-2
エラーメッセージ一覧 4-2
■ファクス編 4-2
■CF カード編 4-3
■スキャナ編 4-4
■プリンタ編 4-5
■共通編 4-7

エラーメッセージ

エラー発生について

本機の操作パネル上の「エラー」ランプが点灯した場合は、本機、または本機に接続されているプリンタ、スキャナに何らかのエラーが発生しています。
「エラー」ランプが点灯した場合は、エラーメッセージ一覧を参照して、記載の対処を行なってください。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ一覧は、以下のように構成されています。

■ファクス編 →4-2
■ CF カード編 →4-3
■スキャナ編 →4-4
■プリンタ編 →4-5
■共通編 →4-7

1
2
3
4
5

■ファクス編

メッセージ	説明	対処方法
受信履歴情報が,破損している可能性があります.異常が見られる場合,履歴を初期化して下さい.	受信原稿の印刷を行なった際、受信履歴情報が破損している可能性があった場合、表示されます。	履歴の初期化を行なってください。頻発するようであればCFカードが破損している可能性があります。その場合はCFカードを交換してください。
【プリンタエラー発生】 画像異常	受信原稿の画像展開処理が正常に行なえなかった場合に表示されます。	ファクス受信をやり直してください。
【プリンタエラー発生】 メモリ不足	受信画像が複雑すぎるためや、他処理動作中のために作業メモリを確保できず、受信原稿の印刷処理が継続できない場合に表示されます。	他の処理が完了してから、再度メモリ印刷を行なってください。
FAX送信原稿処理がキャンセルされました. 原因が下記のどちらにも該当しない場合、本機の電源を再投入して下さい. ●送信用メモリがフル ●ADF異常	送信原稿の作成中、何らかの要因によって送信原稿作成処理がキャンセルされた場合に表示されます。	他の処理がメモリを使用している場合、その処理が完了してから再度送信を行なってください。 ADF異常の場合は、それを解除してから再度送信を行なってください。

■ CFカード編

メッセージ	説明	対処方法
・CFカード空き領域なし CFカードの空き容量が不足しています. ●メモリ受信原稿を印刷して下さい. ●不要な送信予約をキャンセルして下さい.	CFカードの空き容量が不足しています。主な原因は下記の2点です。 ①メモリ受信原稿が多すぎます。 ②送信予約が多すぎます。	①メモリ受信原稿を印刷してください。 ②不要な送信予約をキャンセルしてください。 ③CFカードを交換して下さい。 ※本機の動作中は、CFカードの抜き差しを行なわないでください。CFカードが破損してしまう可能性があります。
・CFカードなし CFカードが挿入されていないか,もしくは,CFカードの検索に失敗しました.CFカードを確認してください.	①CFカードが挿入されていません。 ②CFカードの検索に失敗しました。	①一度本機の電源を落として頂いた後、CFカードを挿入してから本機の電源を再度投入してください。 ②CFカードが挿入されていることを確認後、しばらく待っていただいて、その後、再検索ボタンを押してください。 ※本機の動作中は、CFカードの抜き差しを行なわないでください。CFカードが破損してしまう可能性があります。
・CFカードエラー CFカードからの読取りに失敗しました. CFカードが破損している可能性があります. CFカードを確認してください.	①CFカードのファイルが破損している可能性があります。 ②CFカードが破損している可能性があります。	このエラーが頻発する場合、CFカードの内容を初期化してください。初期化後、このエラーが頻発する場合、CFカードを交換してください。CFカードの初期化は、OPTIONメニューの「CFカード管理」で行なってください。
・CFカードエラー CFカードへの書込みに失敗しました. 容量が不足している可能性があります. CFカードを確認してください.	①CFカードのファイルが破損している可能性があります。 ②CFカードが破損している可能性があります。	このエラーが頻発する場合、CFカードの内容を初期化して下さい。初期化後、このエラーが頻発する場合、CFカードを交換してください。CFカードの初期化は、環境設定メニューの「CFカード管理」で行なってください。
・CFカードエラー CFカードの初期化に失敗しました. CFカードが破損している可能性が有ります. CFカードを確認して下さい.	CFカードが破損しています。	CFカードを交換してください。

■スキャナ編

メッセージ	説明	対処方法
・原稿用紙確認 スキャナ原稿台の原稿用紙を取り除いて下さい.	原稿用紙が、スキャナ原稿台とADFの両方にセットされています。	ADFから給紙する場合、スキャナ原稿台の原稿用紙を取り除いてください。
・ADFエラー ADFとスキャナの状態を確認して下さい.	ADFかスキャナのどちらかでエラーが発生しました。	エラーの発生している個所のエラーを取り除いてください。 エラーが解消できない場合、スキャナの電源を再投入してください。
・通信エラー 本機とスキャナの接続を確認して下さい.	スキャナから応答がなかったため、スキャナとの通信でエラーが発生しました。	①本機とスキャナの接続が正しいことを確認してください。 ②スキャナにエラーが発生している場合は、そのエラーを取り除いてください。 ③スキャナの輸送用固定ノブがUNLOCKの状態になっていないか確認してください。
・スキャナ使用中 スキャナが使用されていないことを確認後,再度,処理を行なって下さい.	スキャナが使用中です。	スキャナが使用されていないことを確認後、再度処理を行なってください。
・カバーオープン ADFのカバーを閉じて下さい.	ADFのカバーが開いています。	ADFのカバーを閉じてください。
・用紙サイズ検知エラー 用紙サイズ自動検知はサポートしていません.	ご使用のスキャナは、用紙サイズ自動検知機能をサポートしていません。	①用紙サイズ自動検知ではなく、手動で指定してください。 ②用紙サイズ自動検知を行なう場合は、ADFをご使用ください。
・用紙サイズ検知エラー 用紙サイズが判別不能です. 原稿用紙をセットし直して下さい.	①原稿用紙サイズの判別に失敗しました。 ②原稿用紙がセットされていません。	①原稿用紙を取り除いた後、再度セットしてください。 ②原稿用紙がセットされていない場合は、原稿用紙をセットしてください。
・紙詰り ADFの紙詰りを解除して下さい.	ADFにて紙詰りが発生しました。	ADFの紙詰りを取り除いてください。

■プリンタ編

メッセージ	説明	対処方法
・オフライン プリンタ側の[印刷可]スイッチを押して,プリンタを印刷可能な状態にして下さい.	プリンタがオフラインになっています。	プリンタの印刷可スイッチを押してください。
・感光体ユニット 感光体ユニットを確認して下さい.	プリンタの感光体ユニットが寿命です。	新しい感光体ユニットに交換してください。
・定着ユニット 定着ユニットを確認して下さい.	プリンタの定着ユニットが寿命です。	新しい定着ユニットに交換してください。
・トナーカートリッジ トナーカートリッジを確認して下さい.	プリンタのトナーカートリッジ残量がなくなりました。	新しいトナーカートリッジに交換してください。
・カバーオープン プリンタカバーを閉じて下さい.	①プリンタのカバーが開いたままになっています。 ②プリンタのカバーが完全に閉じていません。	プリンタのカバーを確実に閉じてください。
・紙詰り プリンタの紙詰まりを取り除いて下さい.	プリンタで紙詰まりが発生しています。	プリンタの紙詰まりを取り除いてください。
・該当用紙なし プリンタに用紙をセットして下さい. または,プリンタに用紙カセットをセットして下さい.	①正しい用紙がセットされていません。 ②用紙カセットがセットされていません。	①正しい用紙をセットしてください。 ②用紙カセットをセットしてください。 ③指定した給紙装置に正しいサイズの用紙をセットしていただだくか、もしくは、他の給紙装置を選択してください。
・ビンユニット装着不良 プリンタのビンユニットを正しく装着して下さい.	プリンタのビンユニットが正しく装着されていません。	プリンタのビンユニットを正しく装着してください。
・両面印刷ユニット装着不良 両面印刷ユニットを正しく装着して下さい.	プリンタの両面印刷ユニットが正しく装着されていません	プリンタの両面印刷ユニットを正しく装着してください。
・状態初期化失敗 下記項目を確認して下さい. ●プリンタの双方向設定が[ECP]であること ●本機とプリンタの接続が正しいこと リトライボタン押下後,エラーが発生する場合は,プリンタの電源を再投入してください.	プリンタからの応答がなかったため、状態の初期化が正常に終了できませんでした。	①プリンタの双方向設定がECPであることを確認してください。 ②本機とプリンタの接続が正しいことを確認してください。 エラーが解消できない場合、プリンタの電源を再投入してください。

1
2
3
4
5

エラーメッセージ

メッセージ	説明	対処方法
・通信エラー 本機とプリンタの接続を確認して下さい.	プリンタからの応答がなかったため、プリンタとの通信でエラーが発生しました。	①本機とプリンタの接続が正しいことを確認してください。 ②プリンタにワーニングが発生している場合は、そのワーニングを取り除いてください。 ③プリンタにエラーが発生している場合は、そのエラーを取り除いてください。 エラーが解消できない場合、プリンタの電源を再投入してください。 ※プリンタとの通信でエラーが発生したために、以後の印刷が正常に行なわれない場合があります。この場合、印刷中止後、プリンタのリセット、もしくは、リセットオールを実行してください。
・通信エラー 下記項目確認後,確認ボタンを押して下さい. ●本機とプリンタの接続が正しいこと ●プリンタが印刷可能な状態であること 印刷のキャンセルを行なうには,確認ボタンを押す前に,プリンタのジョブキャンセルを実行して下さい.	プリンタからの応答がなかったため、プリンタとの通信でエラーが発生しました。	①本機とプリンタの接続が正しいことを確認してください。 ②プリンタにワーニングが発生している場合は、そのワーニングを取り除いてください。 ③プリンタにエラーが発生している場合は、そのエラーを取り除いてください。 エラーが解消できない場合、プリンタの電源を再投入してください。 ※プリンタとの通信でエラーが発生したために、以後の印刷が正常に行なわれない場合があります。この場合、印刷中止後、プリンタのリセット、もしくは、リセットオールを実行してください。
・用紙確認 履歴印刷はA4用紙のみです. A4用紙をセットして下さい.	履歴印刷はA4用紙にのみ対応しています。	給紙装置にA4用紙をセットしてください。
・用紙確認 設定印刷はA4用紙のみです. A4用紙をセットして下さい.	設定印刷はA4用紙にのみ対応しています。	給紙装置にA4用紙をセットしてください。

■共通編

メッセージ	説明	対処方法
FAX設定値が異常な値を示しています 設定値を工場出荷時の設定に戻します	設定値に誤りを発見した場合に発生します。	設定値が初期値に戻りますので、再度、設定を行なってください。
サービスエラーが発生しました 本機を再起動して下さい	サービスエラーが発生した場合に発生します。	一旦、本機の電源をOFFにして、数分後、ONにしてください。 症状の改善が見られない場合は、エラーコードを控えていただいた上で、弊社サポートダイヤルまでご連絡ください。

ページ

白　紙

5章

付録

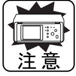
■目次

日常のお手入れ 5-2
サポートのご案内 5-3
　故障のとき 5-3
　サポートダイヤル 5-3
ローマ字入力表 5-4
設定値一覧 5-5
　ファクス設定 5-5
　環境設定 5-6
仕 様 5-7
索 引 5-8

日常のお手入れ

本製品を末永くお使い頂けるように、定期的に次のようなお手入れをしてください。

外装ケースの汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞って汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭いてください。



シンナー、ベンジンなどの揮発性薬品は、ケースなどの表面を傷めることがありますので、絶対に使わないでください。
本製品には絶対に水などがかからないように注意してください。

1
2
3
4
5

故障のとき

本製品には、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。
故障のときや調整が必要なときは、本機の形式と製造番号をお控えになり、お買い求めの販売店にお問い合わせください。本機の型番と製造番号は、本体底面の銘板シールに記載してあります。

サポートダイヤル

本機についてご不明な点がございましたら、お買い求めの販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

サポートの受け付け窓口

■ サイレックス・テクノロジー株式会社　情報機器事業部　www.silex.jp
情報機器事業部サポートダイヤル　06-6730-3775
E-mail　support@silex.jp
受付時間：午前 9:00 ～午前 12:00
午後 1:00 ～午後 5:00
月曜日～金曜日（祝日および弊社指定の休日を除く）

ローマ字入力表

あ	ア	A	は	ハ	HA	が	ガ	GA	ぁ	ァ	XA
い	イ	I	ひ	ヒ	HI	ぎ	ギ	GI	ぃ	ィ	XI
う	ウ	U	ふ	フ	HU	ぐ	グ	GU	ぅ	ゥ	XU
え	エ	E	へ	ヘ	HE	げ	ゲ	GE	ぇ	ェ	XE
お	オ	O	ほ	ホ	HO	ご	ゴ	GO	ぉ	ォ	XO
か	カ	KA	ま	マ	MA	ざ	ザ	ZA	ゃ	ャ	XYA
き	キ	KI	み	ミ	MI	じ	ジ	ZI	ゅ	ュ	XYU
く	ク	KU	む	ム	MU	ず	ズ	ZU	ょ	ョ	XYO
け	ケ	KE	め	メ	ME	ぜ	ゼ	ZE			
こ	コ	KO	も	モ	MO	ぞ	ゾ	ZO	っ	ッ	XTU
さ	サ	SA	や	ヤ	YA	だ	ダ	DA		ヴ	VU
し	シ	SI	ゆ	ユ	YU	ぢ	ヂ	DI			
す	ス	SU	よ	ヨ	YO	づ	ヅ	DU			
せ	セ	SE				で	デ	DE			
そ	ソ	SO				ど	ド	DO			
た	タ	TA	ら	ラ	RA	ば	バ	BA			
ち	チ	TI	り	リ	RI	び	ビ	BI			
つ	ツ	TU	る	ル	RU	ぶ	ブ	BU			
て	テ	TE	れ	レ	RE	べ	ベ	BE			
と	ト	TO	ろ	ロ	RO	ぼ	ボ	BO			
な	ナ	NA	わ	ワ	WA	ぱ	パ	PA			
に	ニ	NI	を	ヲ	WO	ぴ	ピ	PI			
ぬ	ヌ	NU				ぷ	プ	PU			
ね	ネ	NE				ぺ	ペ	PE			
の	ノ	NO	ん	ン	NN	ぽ	ポ	PO			

ファクス設定

◆基本画面

設定項目	設　　定　　値	初期値
送信画質	文字／写真	文字
送信解像度	ノーマル／ファイン／ スーパーファイン／ウルトラファイン	ノーマル
濃度	（うすく～こくで5段階）	標準

◆応用画面

設定項目	設　　定　　値	初期値
両面読取	片面読取／両面読取	片面読取
特殊送信	オフ／Fコード送信／グループ送信／タイマー送信	オフ
ADFサイズ	自動検知／手動指定／A3／B4／A4横／A4縦／ B5横／B5縦／A5横／A5縦	手動指定
原稿台サイズ	自動検知／手動指定／A3／B4／A4横／A4縦／ B5横／B5縦／A5横／A5縦	手動指定
受信モード	通常受信／メモリ受信	通常受信
端末登録	FAX番号／自局名称／グループ	―
輪郭設定	（ソフト～シャープで5段階）	標準
変倍送信	A3に変倍／A3に等倍／B4に変倍／B4に等倍／ A4に変倍／A4に等倍	―
発信元記録	＜記録位置＞FAX文書外／FAX文書内／発信元記録なし ＜記録内容＞番号と名称／番号のみ	FAX文書外 番号と名称
受信用紙	A3用紙可／A3用紙不可／B4用紙可／B4用紙不可 ＜ちいさめ＞標準／ちいさめ	すべて可 標準
送信速度	2400／4800／7200／9600／12000／14400（bPS）	12000（bPS）
受信速度	2400／4800／7200／9600／12000／14400（bPS）	14400（bPS）
回線種類	パルス/10pps／パルス/20pps／トーン	トーン
ADF異常時	送信継続／送信中止	送信中止
送信メモリフル	送信継続／送信中止	送信中止
エラー訂正機能	ECM有効／ECM無効	ECM有効
呼出回数	1～9（回）	3（回）
リダイヤル回数	0～9（回）	3（回）
リダイヤル間隔	1～9（分）	1（分）

環境設定

設定項目	設　定　値	初期値
日付設定	（年月日）	―
時刻設定	（時分秒）【24時間形式】	―
節電	【0、10～999】（秒）（0はオフ）	30（秒）
オートクリア	【0、10～999】（秒）（0はオフ）	30（秒）
排紙位置	F-ダウントレイ／F-アップトレイ	F-ダウントレイ
音量	無音／音量小／音量中／音量大	無音
印刷オフセット	＜横オフセット＞【0.0～30.0】(mm) ※左右選択可 ＜縦オフセット＞【0.0～30.0】(mm) ※上下選択可	左 0.0（mm） 右 0.0（mm）
IPアドレス設定	自動設定／ ＜IPアドレス＞（アドレス）【0～255】 ＜SubnetMask＞（アドレス）【0～255】 ＜D.Gateway＞（アドレス）【0～255】	192.168.1.1 255.255.255.0 ―
信号送出LV	【-6～-15】（dB）	-8（dB）

仕様

◆対応コピーシステム

LP-9500CCH ／ LP-8800CCH ／ LP-8800CCS

◆電気的特性

電源電圧	定格 DC16V
消費電流	1.0A 以下

◆操作部

表示装置	5.7インチ　モノクロ液晶ディスプレイ LED（電源・エラー・ファクシミリ）
入力装置	タッチパネル（液晶ディスプレイ表面） ボタンスイッチ（スタート・ストップ・ファクシミリ・拡張・リセット）

◆機械的特性

外形寸法	290.0(W)× 202.0(D)× 41.5(H)mm
重　量	2.0kg（本体）
接続方法	付属ケーブルにより接続

◆環境条件

動作温湿度	温度：5～35℃ 温度：25～85%（非結露）
保存温湿度	温度：-15～50℃ 湿度：25～85%（非結露）

◆使用条件

塵埃	一般事務所（ホコリの多いところは避けること）
照度	直射日光を避けること

◆規格等

耐電磁障害	VCCI Class-A
その他	JATE

◆ファクス仕様

通信規格	G3	
圧縮方式	MH/MR/MMR	
送信原稿サイズ	A3、B4、A4、B5、A5 （但しB5、A5はA3、B4、A4にて送信）	
走査線密度	ノーマル	8ドット/mm × 3.85ライン/mm
	ファイン	8ドット/mm × 7.7ライン/mm
	スーパーファイン	8ドット/mm × 15.4ライン/mm
	ウルトラファイン	16ドット/mm × 15.4ライン/mm
適応回線	加入電話回線 ※ファクシミリ通信網、PBX構内回線、NCC回線、ISDN回線等には対応しておりません。	

1
2
3
4
5

索引

C

CF カード管理　3-10
CF カードの初期化　3-10
CF カードの取り扱い　1-6

I

IP アドレス設定　3-13

L

LPT ステータスシート　3-17

ア

アドレス帳
　アドレス帳の印刷　2-47
　アドレス帳の修正／削除　2-46
　アドレス帳の登録　2-45

エ

エラー訂正機能　2-17
エラーメッセージ　4-2

オ

オートクリア　3-6
音量設定　3-8

カ

回線種類　2-12
環境設定　3-2
　環境設定画面　3-3
管理モード画面　1-19

ク

区点コード　1-11
グループ
　グループの登録　2-35
　グループを削除する　2-38

ケ

原稿の向き　1-12

コ

コントラスト調整　1-14

サ

サブネットマスク　3-15
サポートダイヤル　5-3

シ

自局番号　2-6
自局名称　2-7
時刻設定　1-21
受信モード　2-5
受信用紙　2-9
受信履歴　2-49
仕様　5-7
信号送出 LV　3-16

ス

スキャナ接続処理　1-17

セ

設定初期化　3-9
設定値一覧　5-5
設定内容バックアップ　3-18
設定内容リストア　3-19
節電設定　3-5

ソ

送受信速度　2-10
送信メモリ　2-14
送信履歴　2-49
ソフトウェアキーボード　1-7

タ

タッチパネルの再調整　1-16，3-11
タッチパネルの調整　1-15

ツ

通信音量　2-11

テ

テスト送信　2-44
デフォルトゲートウェイアドレス　3-15
電源の遮断　1-22
電源の投入　1-13

ハ

バージョンアップ　3-22
バージョンの確認　3-21
排紙位置　3-7
発信元記録　2-8

ヒ

日付設定　1-20

フ

ファームウェアのバージョンアップ　3-21
ファクス概要　1-3
ファクス受信の手順　2-22
ファクス送受信の準備　2-4
ファクス履歴　2-48
ファクス履歴印刷サンプル　2-50
不達通知　2-21
プリンタオフセット設定　3-12
プリンタ接続処理　1-18
グループ名を修正する　2-37

ヘ

変倍送信　2-43

メ

メモリ印刷　2-49
メモリ受信　2-5
メモリ受信歴　2-49

モ

文字入力　1-8

ヨ

呼出回数　2-15

リ

リダイヤル　2-16

ロ

ローマ字入力表　5-4

ページ
白　紙

サイレックス・テクノロジー株式会社

〒 577-0802　大阪府東大阪市小阪本町 1-6-20
情報機器事業部サポートダイヤル　06-6730-3775

第 1 版 WA00700XX 03.01.08


silex
technology